

三 女袴の裁ち方寸法割り出し方

女袴裁ち方の寸法は前に示したる如くなれども、尙ほ便利の爲め大凡の割出し方を述べし。

丈即ち紐下 大人物は着物の着丈にコンマ七を乗じ、之れに上

下の縫代凡一寸五分以上を加ふべし。

又子供物は着物の着丈にコンマ六乃至六半を乗じ、之れに上

下の縫代を加ふべし。

後の總幅 仕立上げの後幅の四倍に縫代を加ふ。

前の總幅 仕立上げの後幅の五倍に縫代を加ふ。

注意 すべて袴は襷の深きが恰好よきものなれば、用布の都合によりては後前とも今少し廣くなすも可なり。但し後大紋腰のときは前の割合より狭くなくすべし。

【設問】

三尺幅のカシミヤにて大人女袴を裁つに、後丈二尺七寸の裁ち切りとなさんとせば、總丈何程を要するか。

二尺幅の片面物二丈三尺にて、大人女袴二具の裁ち合せ方を圖解せよ。

両面の並幅物一反(二丈八尺)にて、大人女袴の裁ち方を述べよ。

但し裾に共ぎれ四つ割幅の蹴廻し裏をつくるものとす。

第三 大人女袴仕立方

一 普通仕立上げ寸法

い 後三つ襷

紐下 二尺三寸 相引 一尺六寸五分 後幅 八寸

後脇幅 六寸 後腰幅 八寸 後笹襷幅 一寸五分

後寄せ襷幅 上二寸 下の重 一寸 前脇幅 四寸八分

前腰幅 八寸五分

前笹襷幅 一寸二分

前寄せ襷幅

上九分
下二寸五分五厘

懐の重 八分

ろ 後大紋腰

大紋腰とは後を三つ襷にせずして男袴の如く中央にのみ襷を取りたるものを云ふ。此の場合には後笹襷幅を一寸八分とし、後脇幅及び後寄せ襷幅の寸法を除き、後幅八寸とし他は總べて三つ襷の時の如くすべし。

二 標附け方

一 後布

二 前布

後前共に布の表を中にして各二枚づつ合せ、裾口を右に、相引を手前にして下に置き、前の寸法通り裾紘丈相引丈の標を附く

べし。

但し袴の丈は紐下にてはかるものなれども、標附の際には後前とも脇布につけ置くを便利とす、又後丈は前より五分若くは三分長くするを普通とすれども、着用者の體格によりては同寸となすことあり。

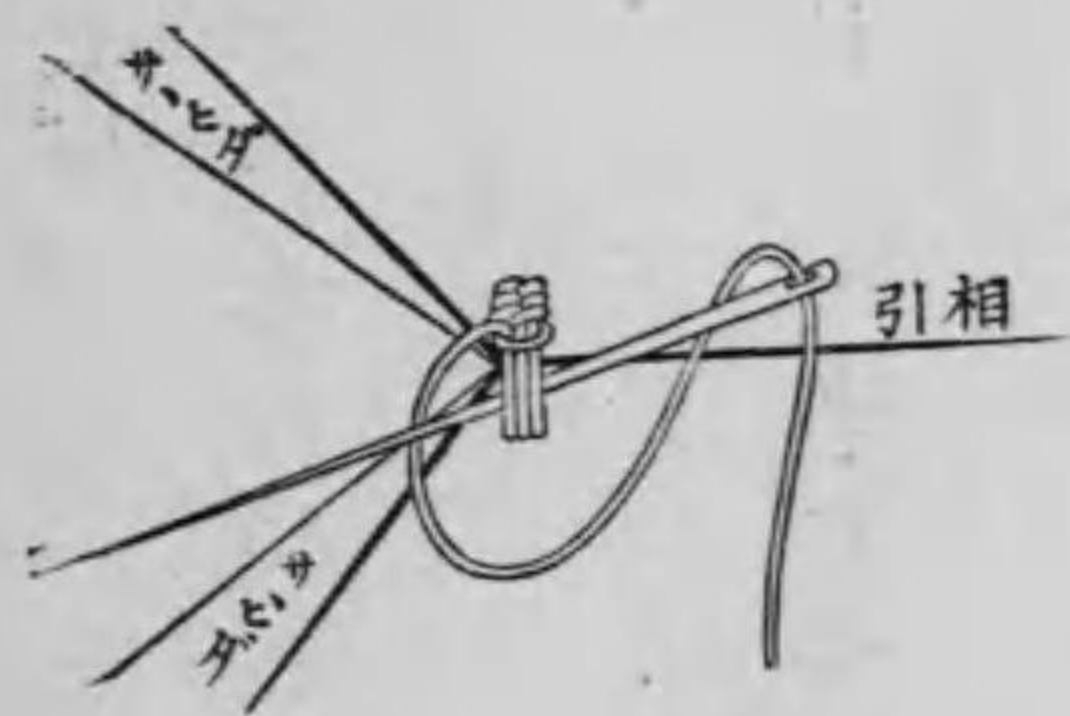
三 縫ひ方順序

- | | | |
|-----------|----------|----------|
| 一 後布縫ひ合せ | 二 前布縫ひ合せ | 三 相引 |
| 四 裾紘 | 五 門留 | 六 後前襷の標附 |
| 七 後襷取 | 八 前襷取 | 九 後笹襷 |
| 一〇 前笹襷及び壓 | 一一 紐紘 | 一二 後紐附 |
| 一三 前紐附 | 一四 仕上げ | |

1 後前布及び相引の縫ひ合せ 先づ後布二枚を取り右脚の

方を幅一分五厘程減きて裁ち目を合せて縫ひ、右脚の方に返して折り伏せ縫をなし、次に前脇布の裁ち目をかゝりて真中の布とはぎ合せ、左右ともに前布の方に返し、それより左右の相引を合せて縫ひ、前布の方に折りをつくべし。

2 裾紵及び門留 裾口を標の通り六分の縫代に折り、更に之れを二つに折りて三分の針目にて三つ折り紵をなし、相引の上



に門留くわんりゅうをなすべし。その仕方は相引の留めぎはの所にて後布の縫代を少しく斜に開き、此處に二分程の針目に二三度糸をかけ、圖の如く其の上に糸をかけて結びつゝ、留め行くなり。又裾廻しをつくるものは、裾口の處に並の縫代にて裾廻しの布を縫

ひ合せ裾廻しの方に折り返してあらく隠し襷をなし、表の布を一分程裏へ返し二枚合せて平襷をなしをき、上を三四分の針目にて紵け行くべし。

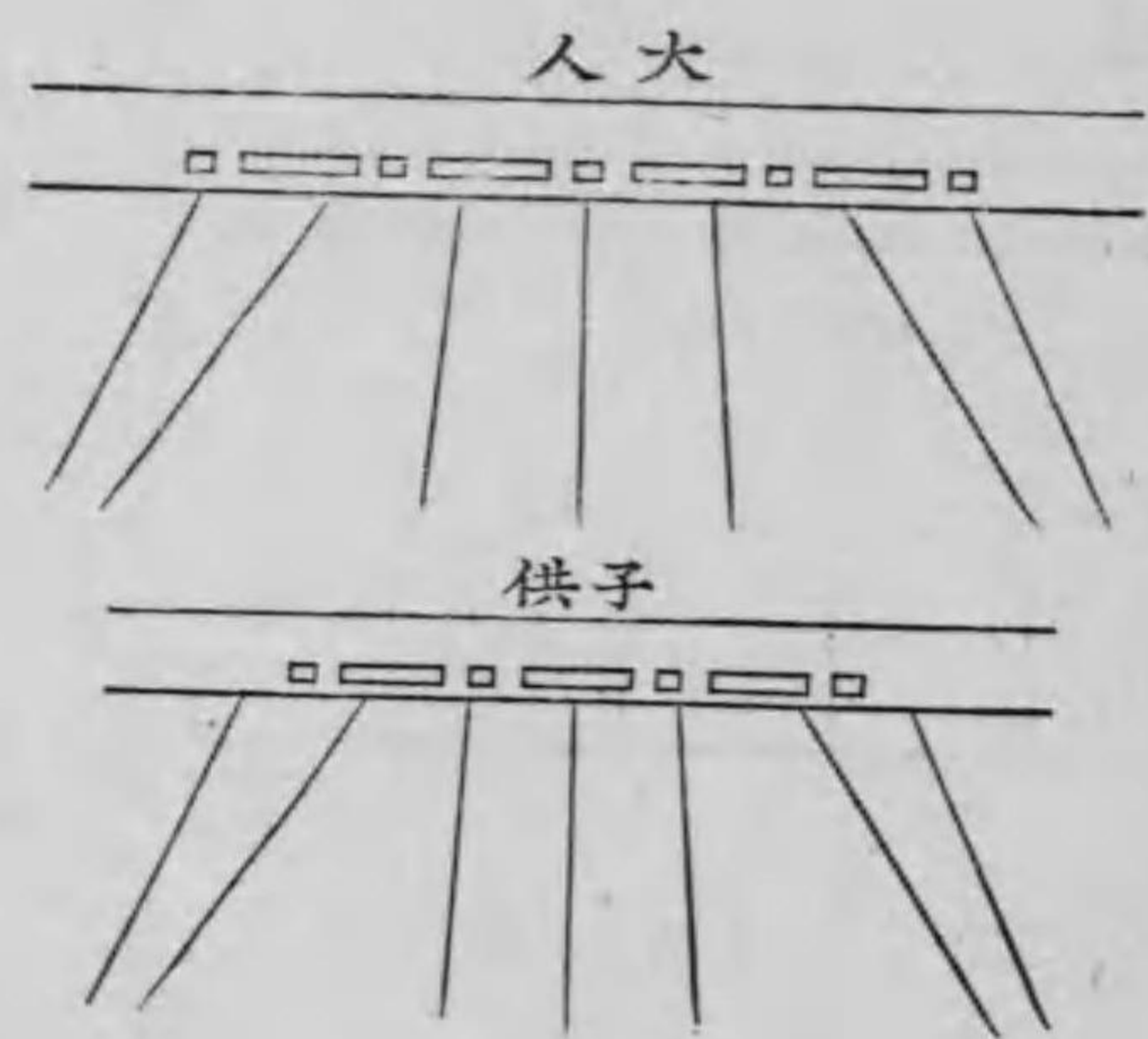
3 後前襷の標附及び襷取り方 のちに示せる寸法によりて後前の布に襷の標をなして折りをつけ、折り目つきがたきものは襷をかけおく、内がはより能く烙鏝をかけて十分折りくせをつけ、裾口を右に、後を上にして下におき、先づ後の二の襷即ち中襷を折り、次に左右一の襷を折りて上下の寄せ襷を定め、中央及び上下に千鳥かゝりをなして前を返し、亦三の襷即ち懐の襷、二の襷、一の襷と順次に折り、寄せ襷を定め、後の如く三所に千鳥縫をなすべし。

4 笹襷及び壓 先づ後の笹襷を寸法通りに折り、中を開きて

七分程の針目にあらく縫ひ、下方は稍、小針になして末端を二三分縫ひ残して留め、その上部を表裏合せて紵けつけ、それより前の笹襷を笹の葉形に折りて後の如く縫ひ、全體に烙鋺又は火熨斗をかけて能く折りをつけ、襷を整へ壓を置くべし。壓を置くには前を上にして裁板の上に伸べ、襷の重なり少くして低き所には新聞紙若しくは小切れを中より挟みて平になし、其の上よりすべし。

但し壓板が小さき時は、裾口と相引との真中より五分程上の處にて裾を上方に折り返し、此處より五分程離して上を折り重ね三つに疊みて壓を置くべし。

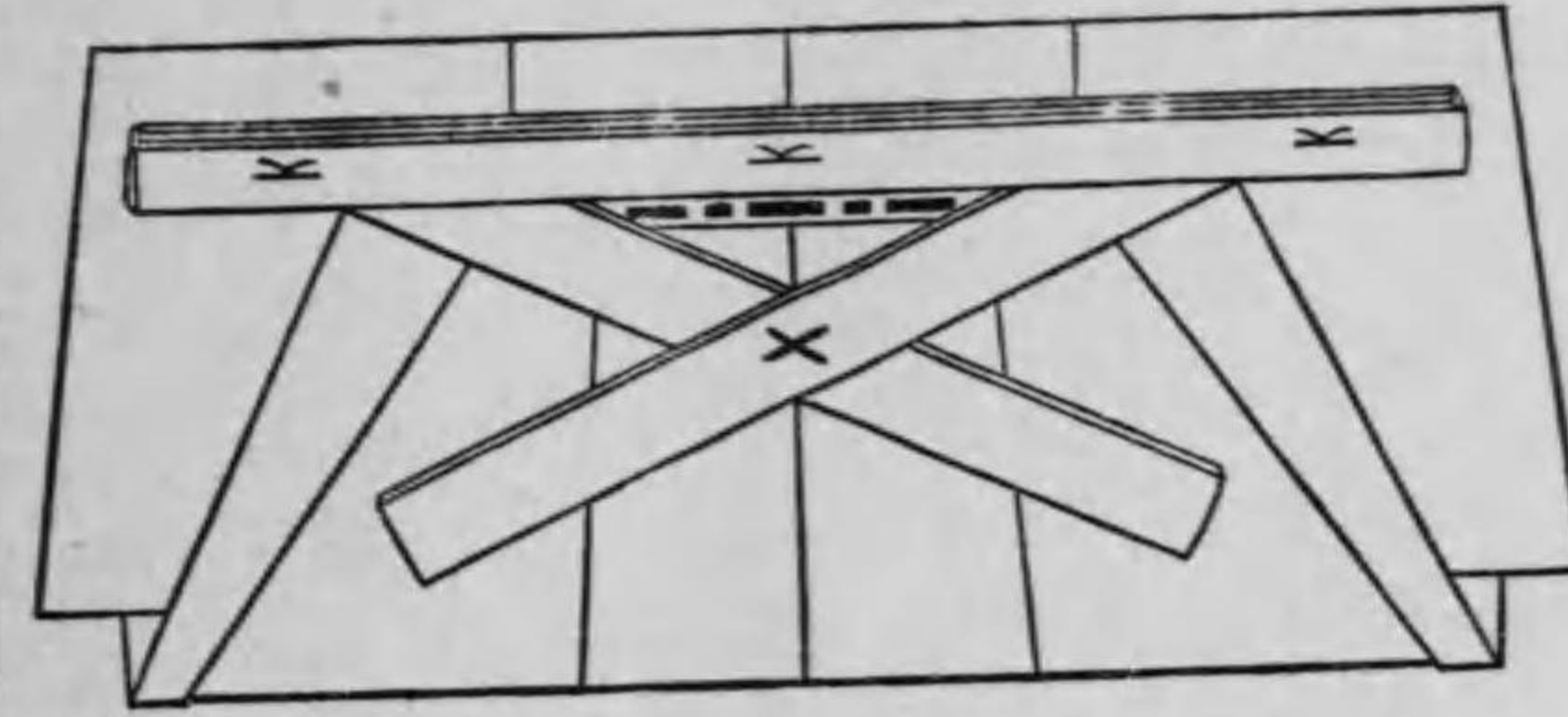
5 紐紵并に紐附 後前の紐に心を入れ、真中一尺程を残して之れを紵け、後紐のあけあるところに半紙五枚程合せたる板目



紙を二重に折りて角を丸く裁ちて入れ、布を十分引き張りて、絲にてとめおき、太白の捻り絲二本にて下より二分五厘程上りたる處に、大人物ならば雌針五つ雄針四つ、子供物ならば雌針四つ雄針三つを圖の如く、何れも板目紙を通して表に出して飾絲をかけ、これを後腰につくべし。此の際後笹襷の處を少しく引き揚ぐるやうにして紐を合せ待針をなし、板目紙より一分程縫代によりし方を心と共に返し針にてつけ行き、裏の方に紵けつくべし、それより前紐の中央と前腰の中央とを合せて待針をなし、此處に美濃紙を一寸二三

分の幅に折りて四五枚入れ兩脇の處は後と反對に、紐の方を少しく揚げてまた待ち針をなし、後と同じく返し針にてつけ、襷の重なり少なくして薄き所には小切れを挟みて平になし、後小針に紵け上ぐべし。

女袴疊み方圖



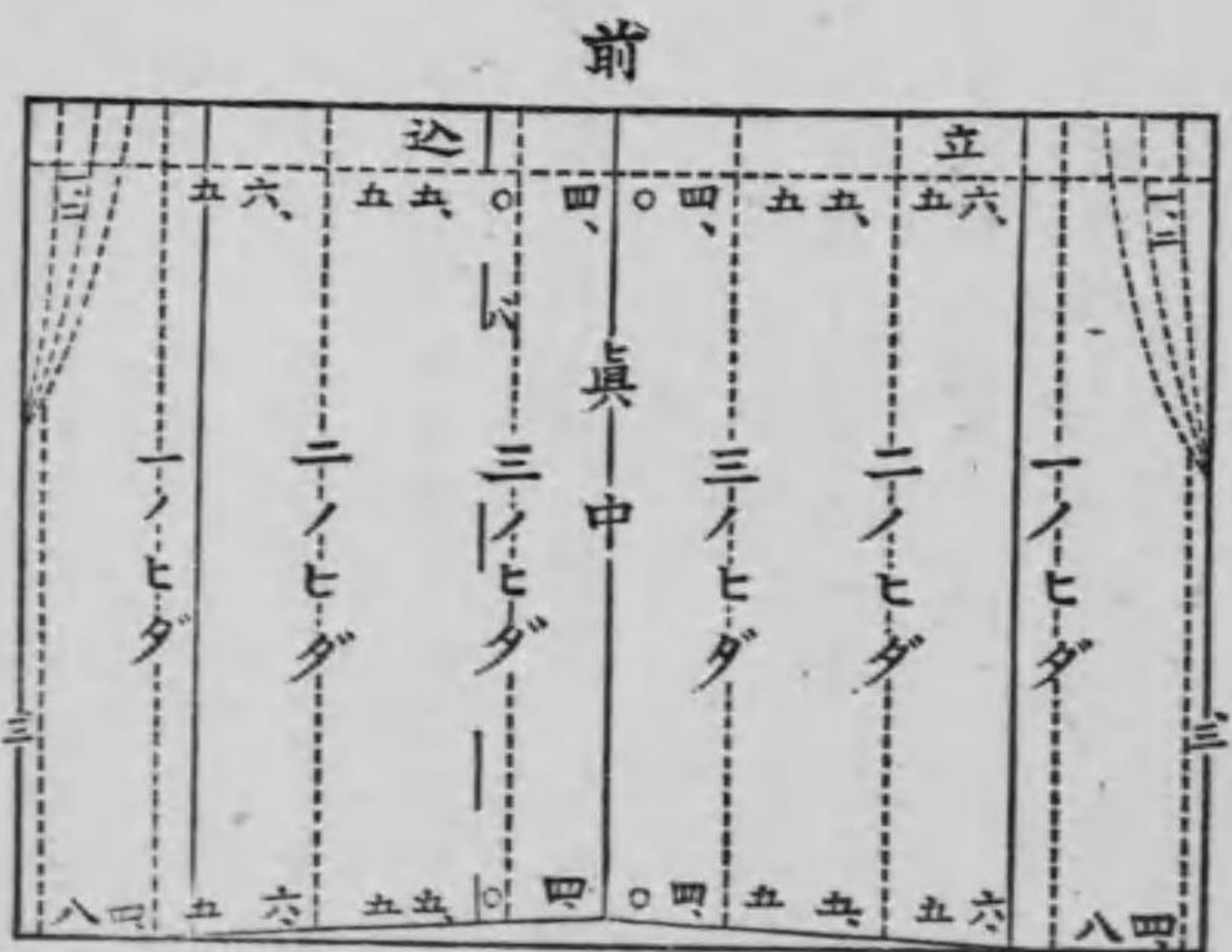
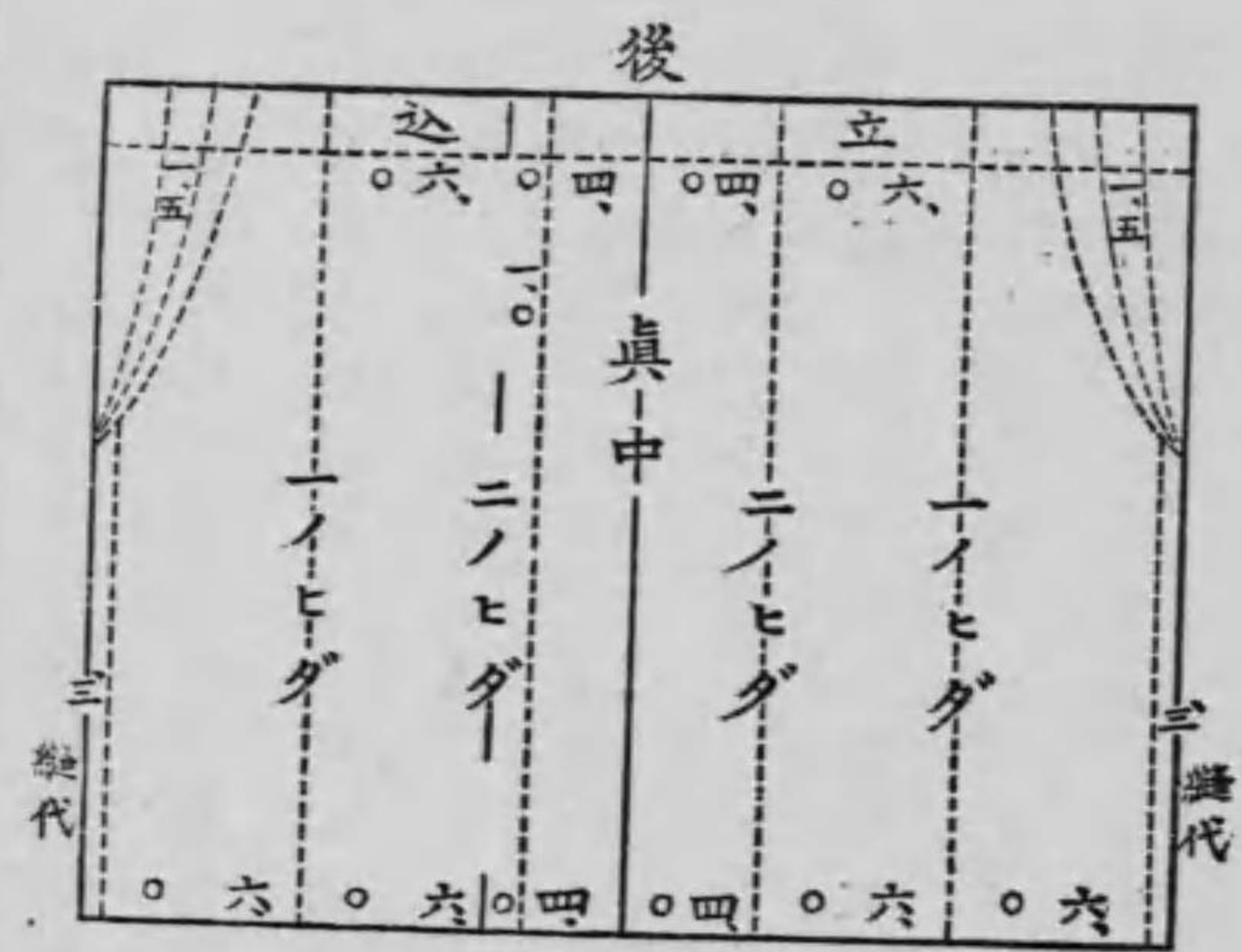
6 全體仕立上らば今一度仕上げをなし、前に述べたる如く三つに疊みて先づ後の左紐を二つに折りて斜に載せ、次に右紐を折りて其の上に乗せ、次に前紐を折りて後腰の上におき、圖の如く四ヶ所を綴ち置くべし。

注意 袴の仕立方は大人物も子供物も略ぼ同じく只各部の寸法少しく異なるのみなるを以て、大人物

を十分了解せば、容易に子供物をも仕立つることを得るなり。

四 大人女袴襷取り方

一、三尺幅物



本章第二、一の一に於ける裁方に就きての縫ひ合せ及び襷取り方

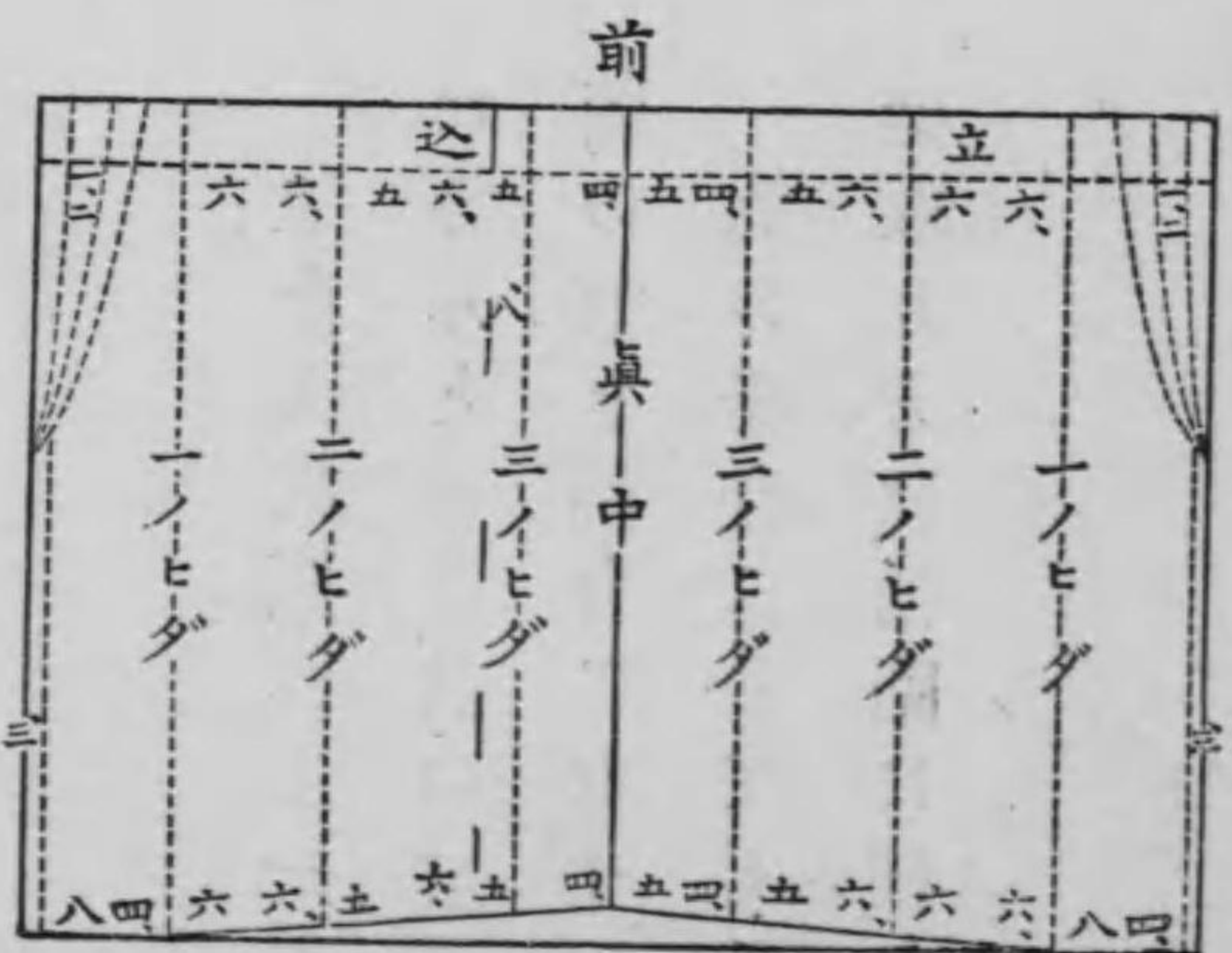
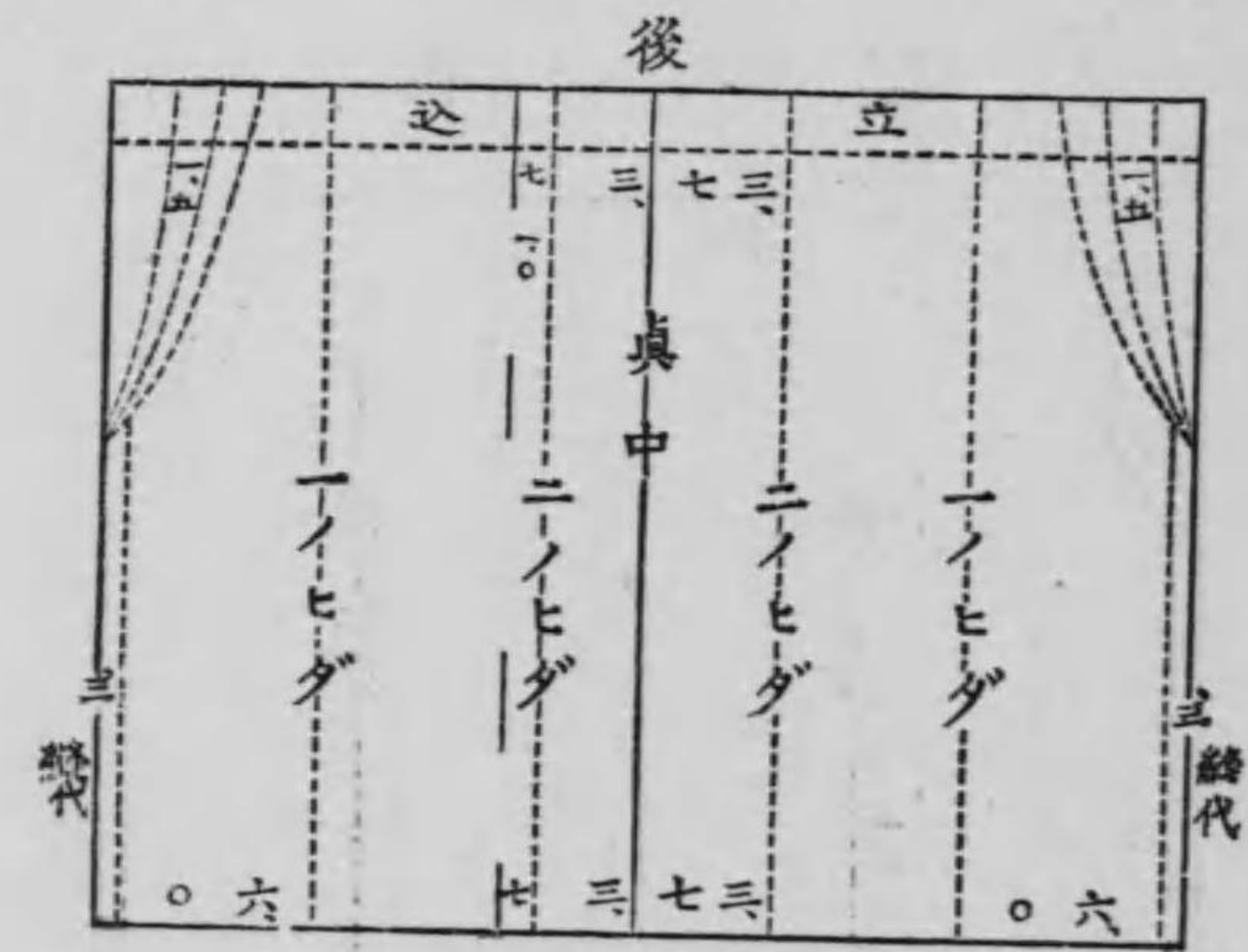
注意 右の圖は袴を裁ち切りたるのち各部の合せ方及び襷の取り方を示したるものにて、圖中の眞線は縫ひ合はすべき部分の標にして點線は襷を取るべき折り目の標なり、此の折り目は總べての布を縫ひ合せたる後附くるものなれども、開きたる圖にて示すは却て了解し易きを以て併せて此處に記載せり、又左脚の後布の二重の標の中點線は折り目の標にして短線は中襷の重なるべき分なり。

但し襷の寸法は圖中に記載せる通りに折るべし。

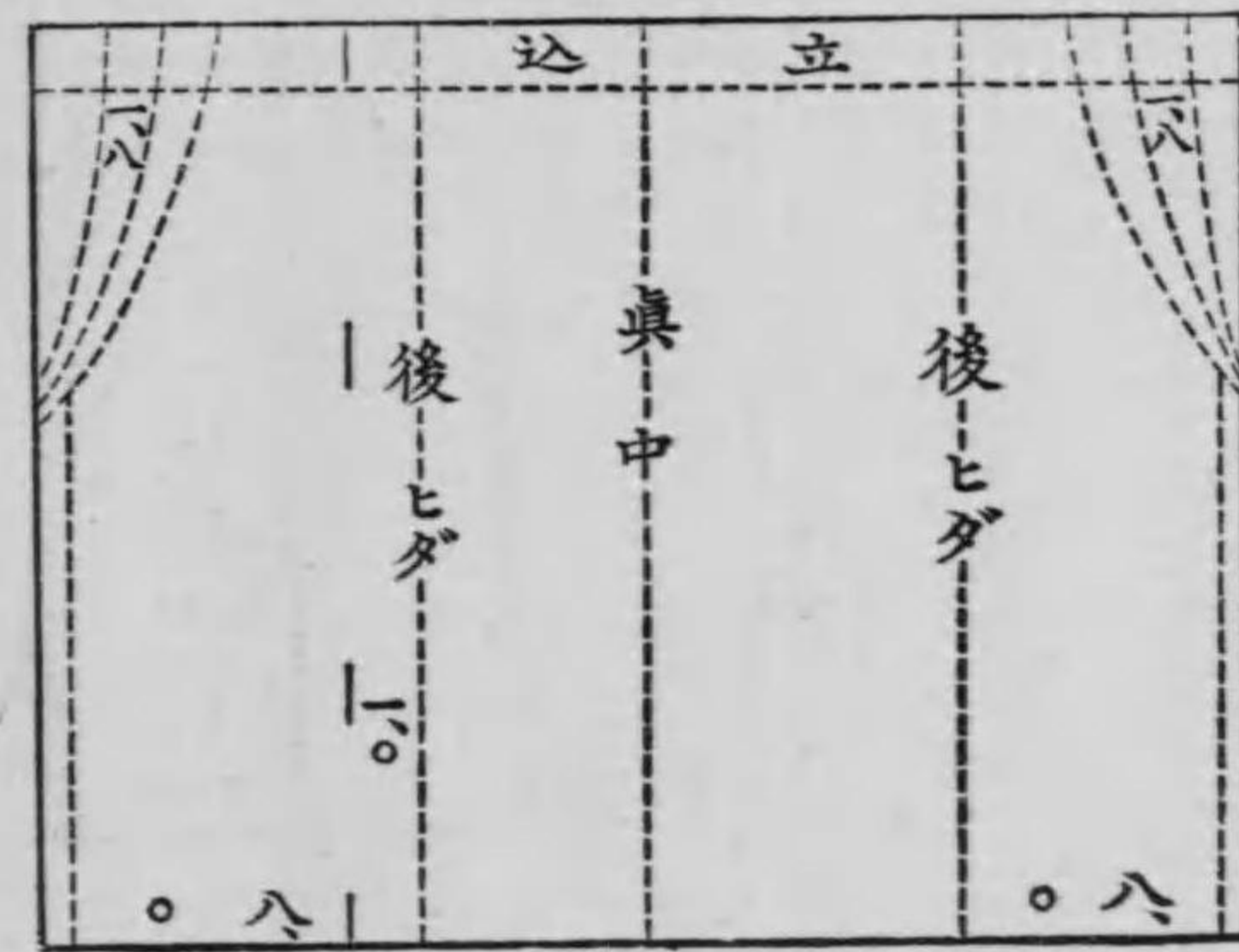
以下小裁・中裁及び男袴もすべて之れに同じ。

又前を衝き合せ襷になすときは、懷の重なりを取らずして左右とも同じ幅に折りをつくべし。

本章第二二の二に於ける裁ち方につきての縫ひ合せ及び襷取り方



後 一 つ 襷

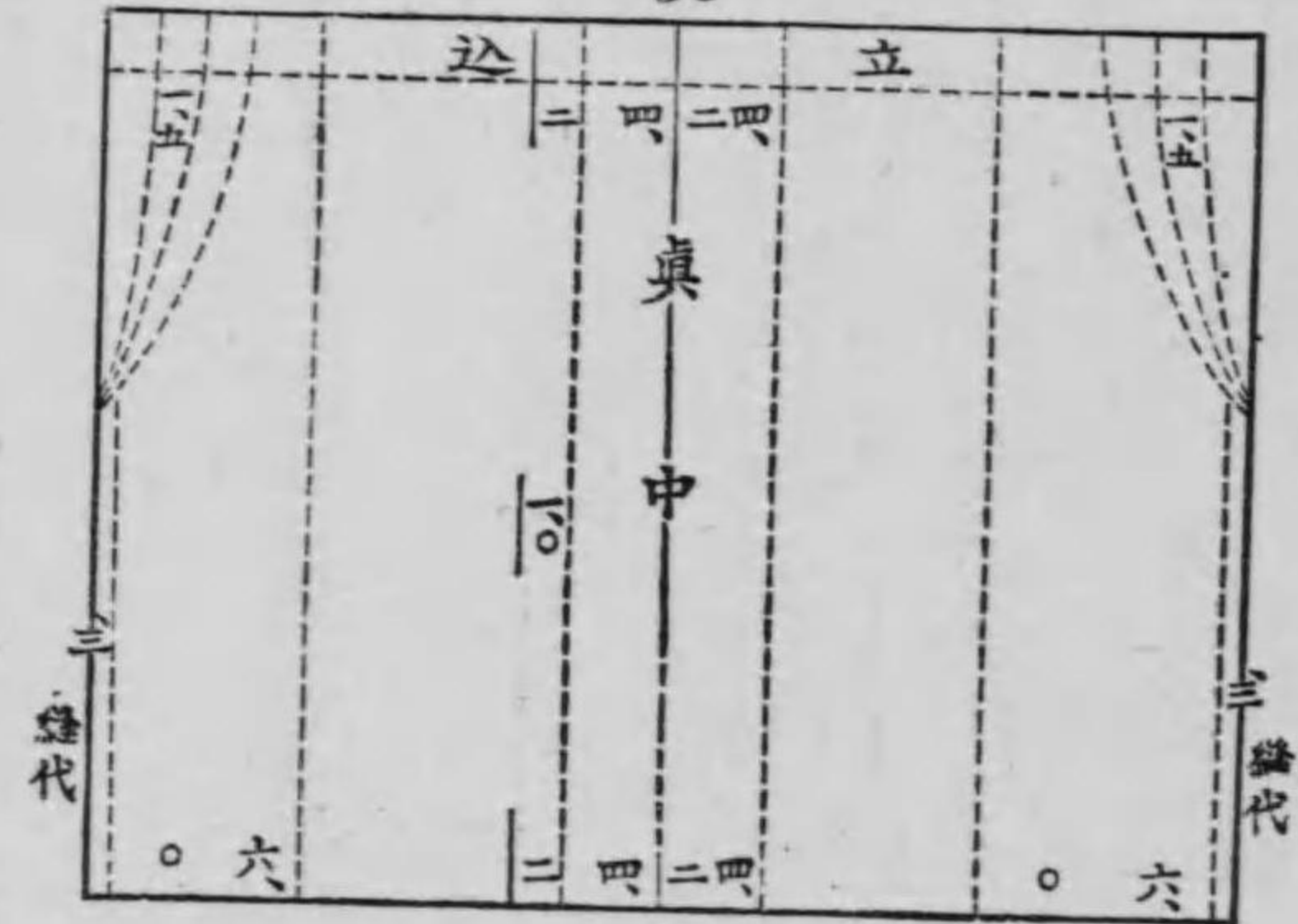


後を大紋腰即ち一つ襷になさんとせば、其の寸法を上圖の如き割合になすべし。
此の場合に於ても前布の襷取り方は前圖に同じ。

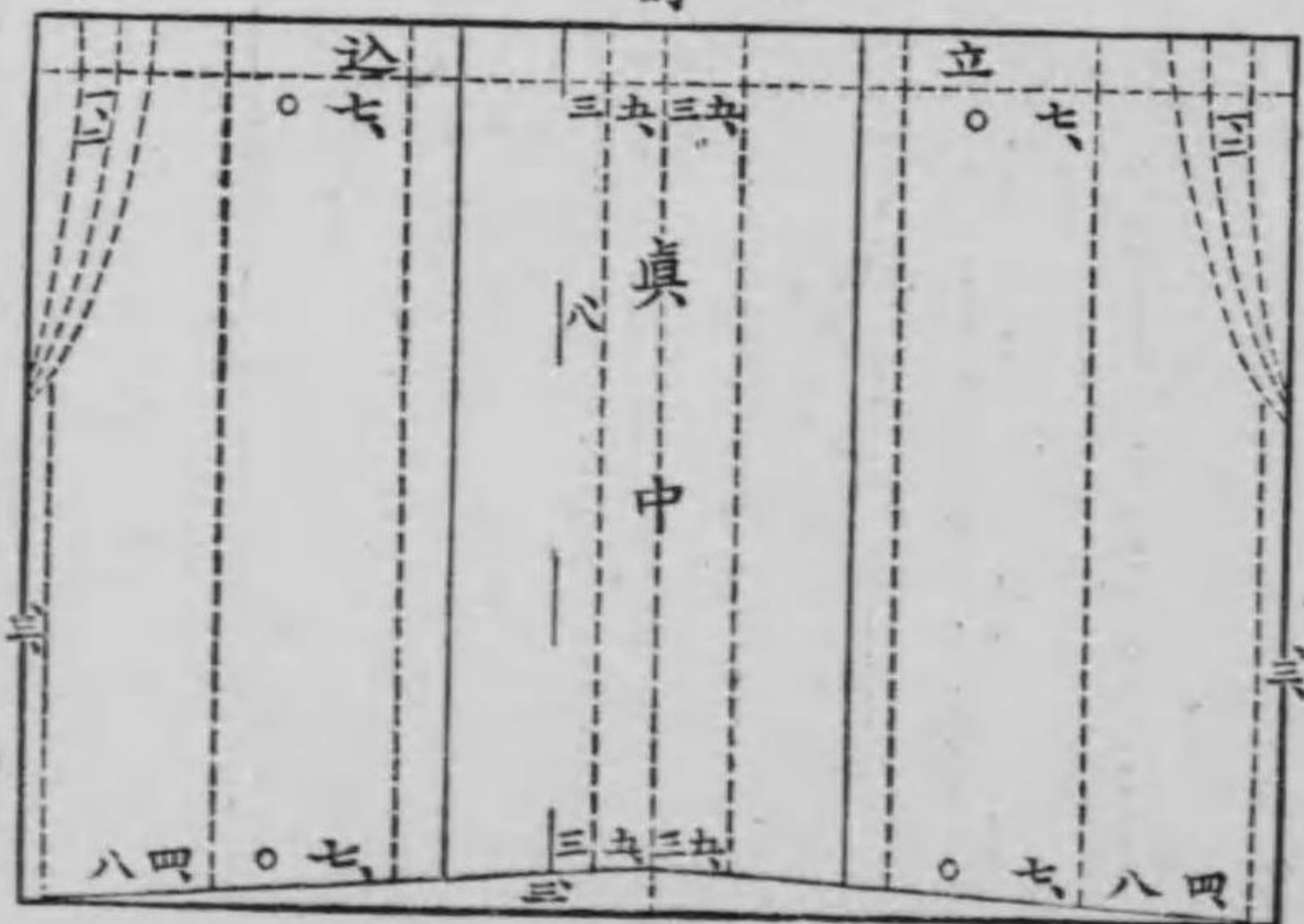
三二尺幅物

本章第二二の一に於ける裁ち方につきての縫ひ合せ方及び襷取り方

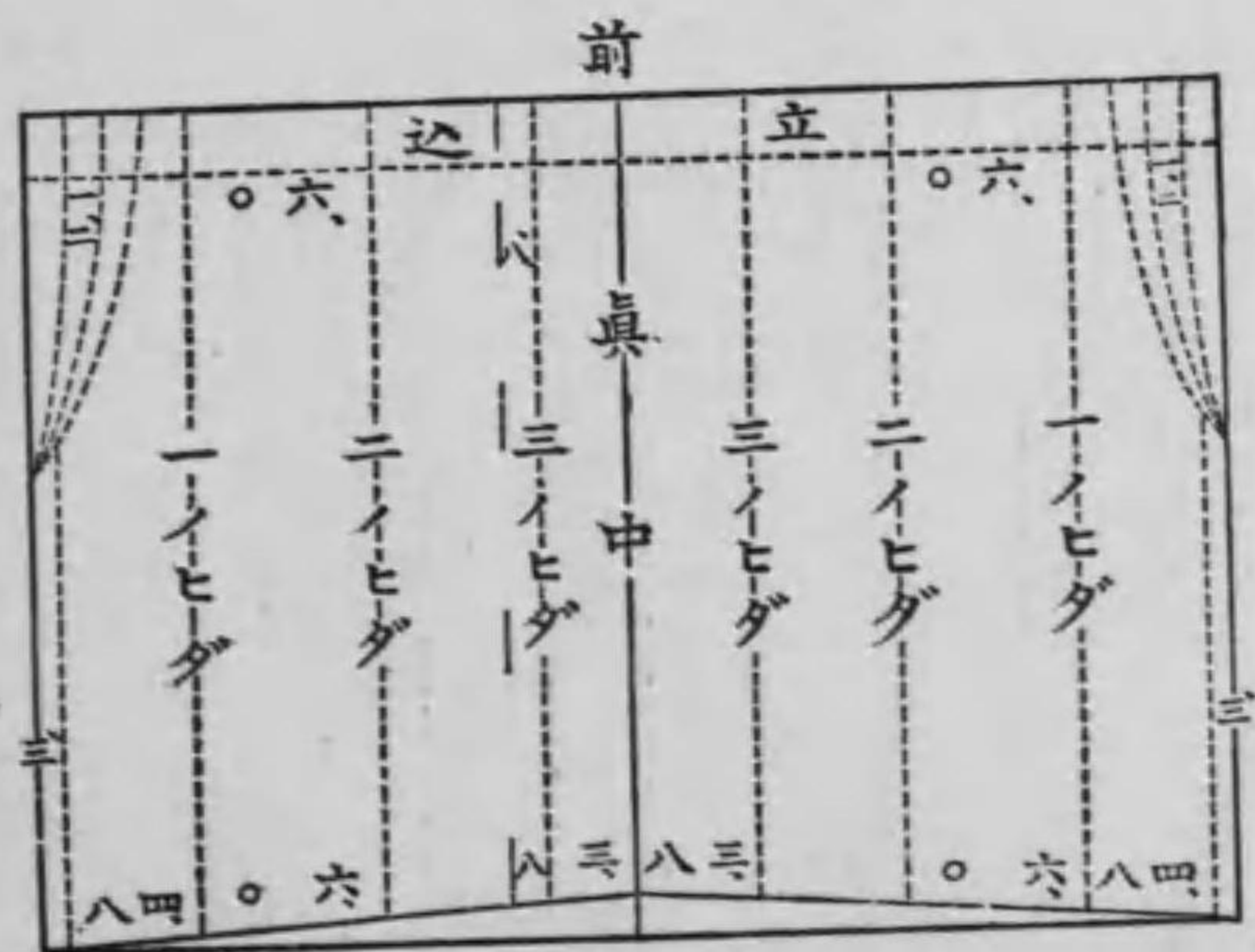
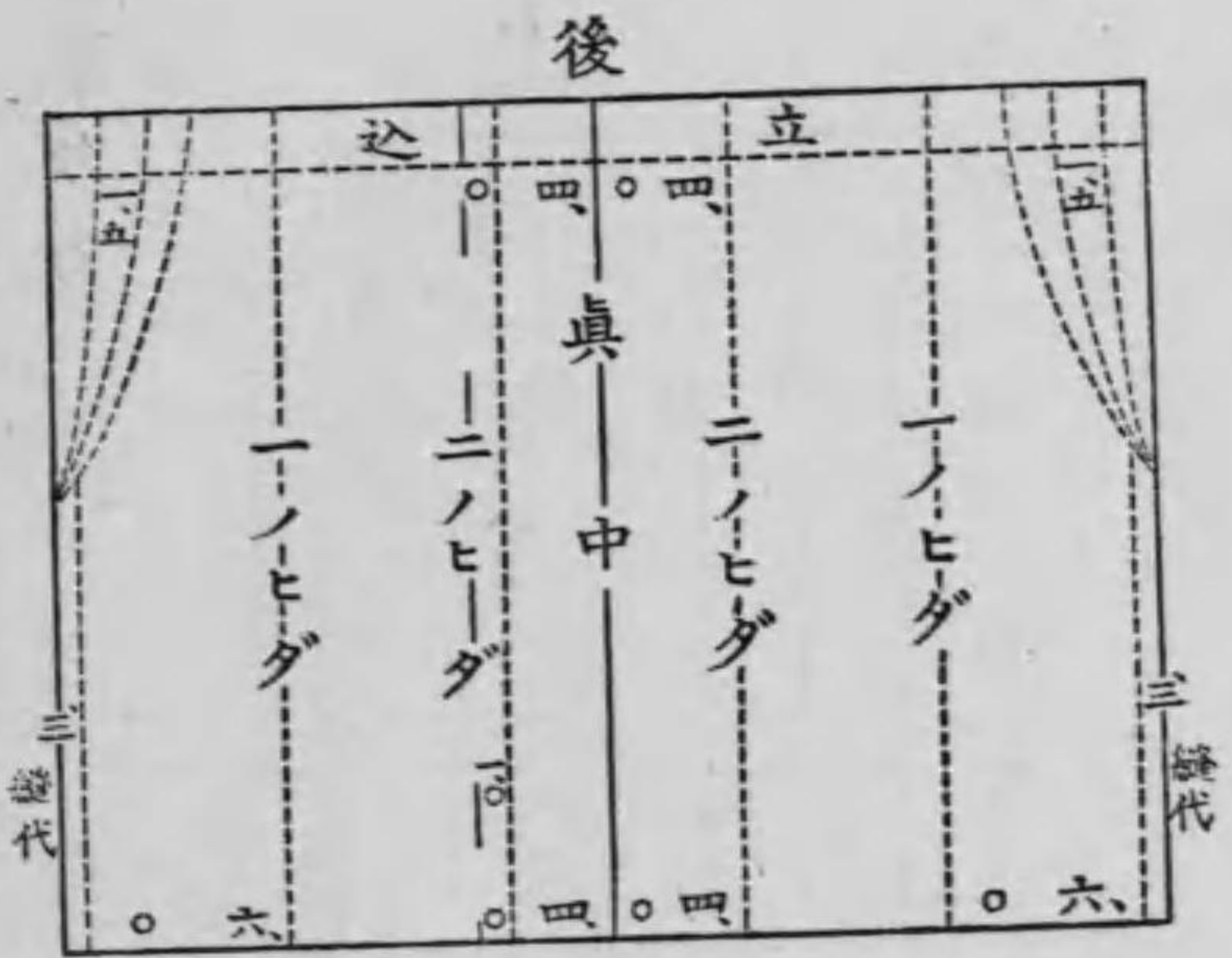
後



前



本章第二二二の二に於ける裁ち方につきての縫ひ合せ及び襷取り方



五 女袴仕立上げ寸法割出し方

1 後襷 先づ相引の方より後幅即ち八寸をはかりて標し置き、其の残り、の布幅をはかり之れを二等分して其の一を懐の襷即ち二の襷の幅として此の處に折り目の標をつけ、次ぎに相引より六寸をはかりて一の襷の折りをつくべし。

但し左脚は重なり分だけ減じて二の襷の折りをつく。

又布の總幅狭きものは、八寸を減きて二分したるものに五分若しくは三分を加へて懐の襷の深さとすべし。

2 前襷 後襷の時と同じく相引より八寸をはかり、残りの幅を三分分して其の一を懐の襷即ち三の襷の幅として此のところに折り目の標をつけ、次ぎに相引より四寸八分はかりて一の襷の折りをつけ、此の折り目と三の襷の折り目との中央を求め之れを一の襷の方へ三分越したる處に二の襷の折り目をつく。

但し前の總幅割合に廣きものは、五分を加へずして中央を直ちに二の襷の折り山として可なり。

3 紐下 大人物は着物の着丈の七割とし、子供物は六割乃至六割半とす。

4 相引 紐下の三分の二に大人物は一寸乃至一寸五分を加へ、子供物は五分乃至一寸を加ふ。

5 後幅 大人物は着物の後幅に五分を加へ、子供物は單に着物の後幅と同寸とす。

但し子供物にて後幅不明なる時は、紐下の三分の一に五分を加ふべし。

6 後脇幅 三つ襷の場合は後幅の四分の三とし、一つ襷の時は後幅の寸法とす。

7 後笹襷幅 三つ襷の時は後脇幅の四分の一とし、一つ襷のときは後幅の四分の一弱とす。

8 後腰幅 後幅と同寸か若しくは之れに五分以内を加ふ。

9 後寄せ襷幅 上は後幅の八分の一、下は後幅の四分の一とす。

10 前脇幅 後幅の五分の三とす。

11 前笹襷幅 前脇幅の四分の一とす。

12 前腰幅 後腰幅に五分を加ふ。

13 前寄せ襷幅 上は後幅の十分の一、下は後幅の五分の一弱とす。

【設問】

女袴の普通仕立上げ寸法を問ふ。

女袴各部寸法の割出し方を述べよ。
女袴後腰の附け方及び飾絲の仕方如何。

第十八章 小裁・中裁女袴

小裁・中裁共に年齢によりて丈・幅に廣狹・長短の別あり、左に是等各種の裁ち方及び襷取り方を述べべし。
但し縫ひ方の順序方法は前に述べたる如く何れも大人物に同じ。

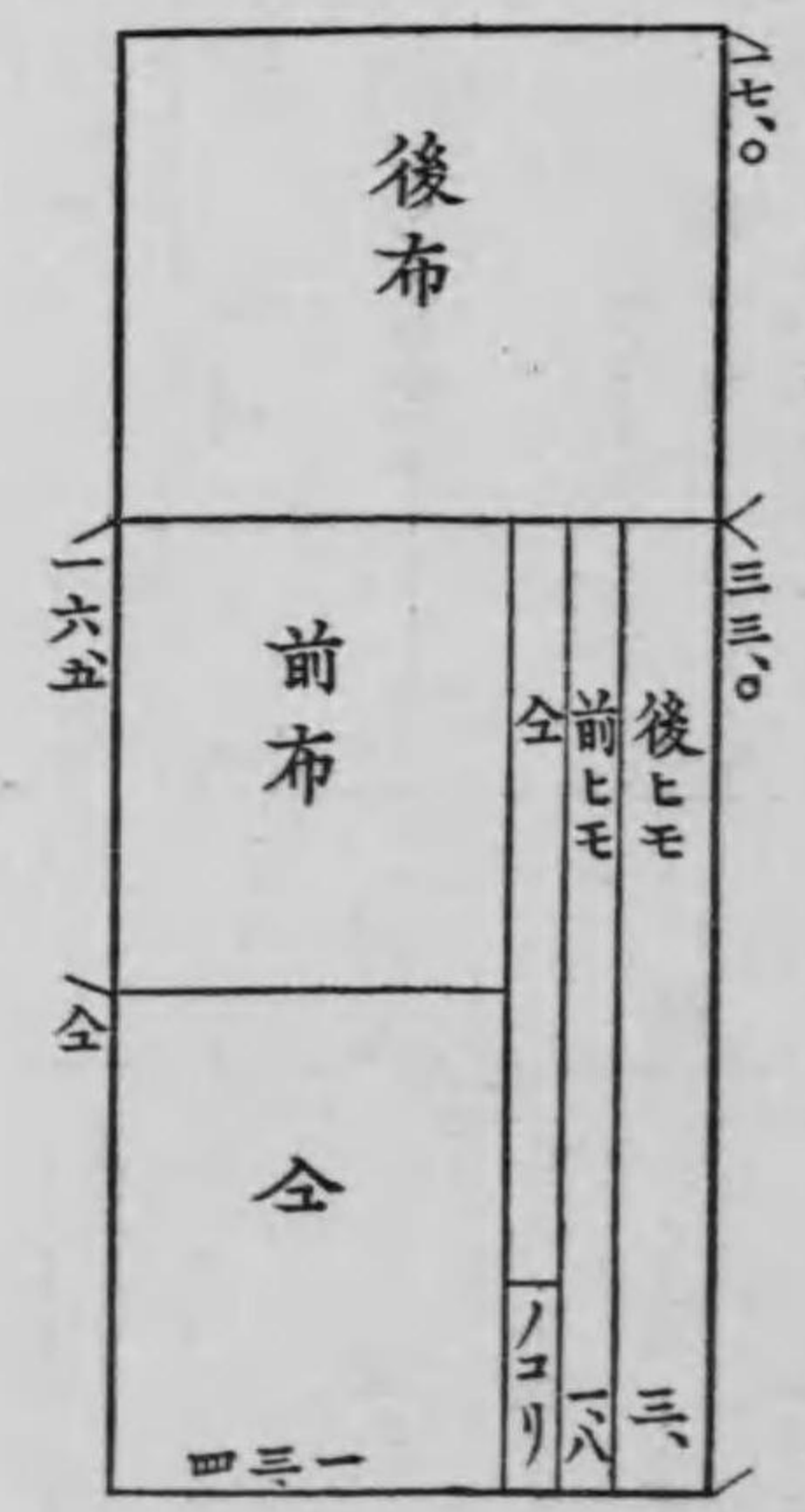
第一 小裁女袴

一、用布 幅二尺長さ五尺にて五六歳女兒用袴の裁ち方及び襷取り方

普通裁ち切り寸法

- 後丈 一尺七寸
- 前丈 一尺六寸五分
- 後紐丈 三尺三寸
- 前紐丈 六尺
- 後紐幅 三寸
- 前紐幅 一寸八分

裁ち方の圖



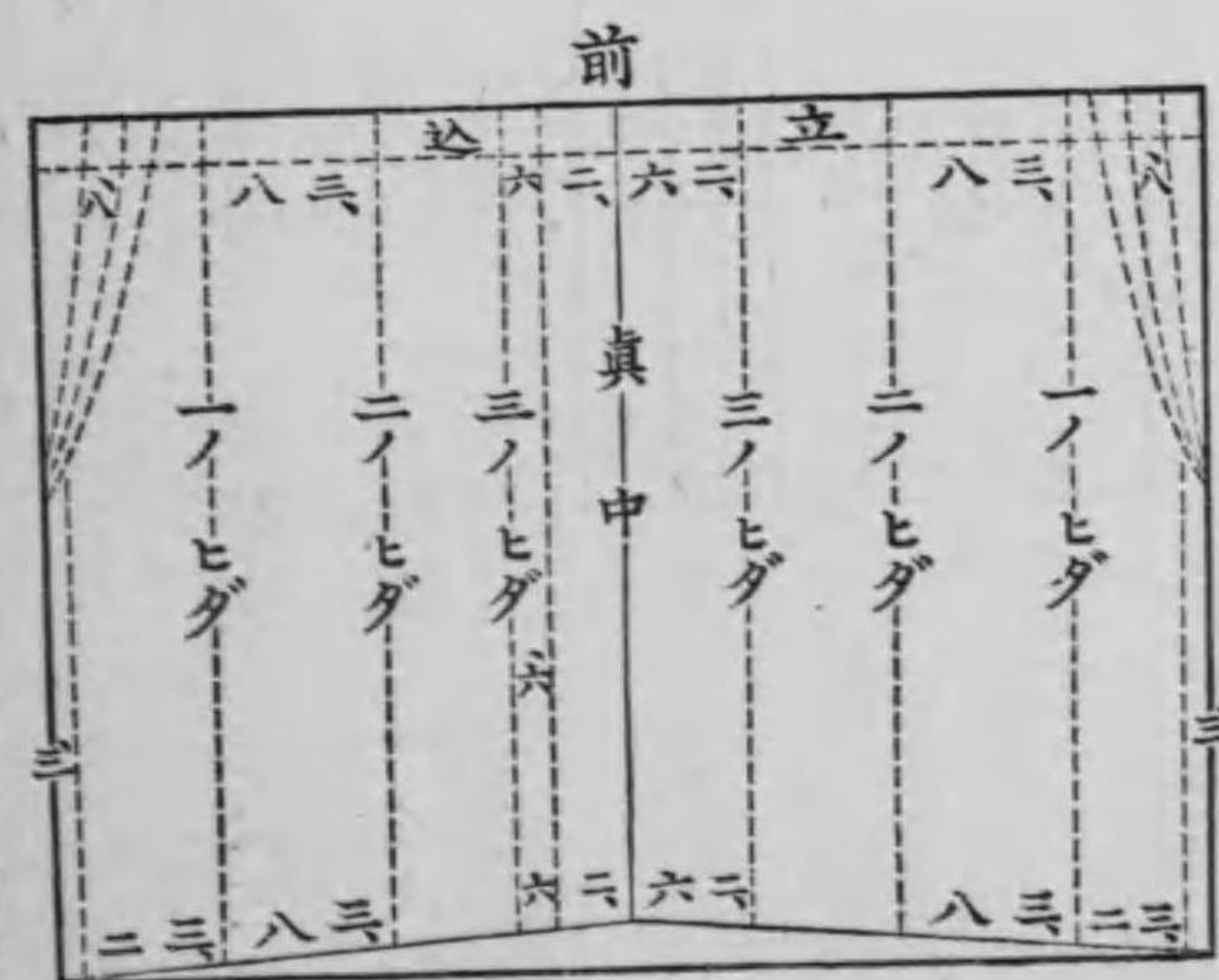
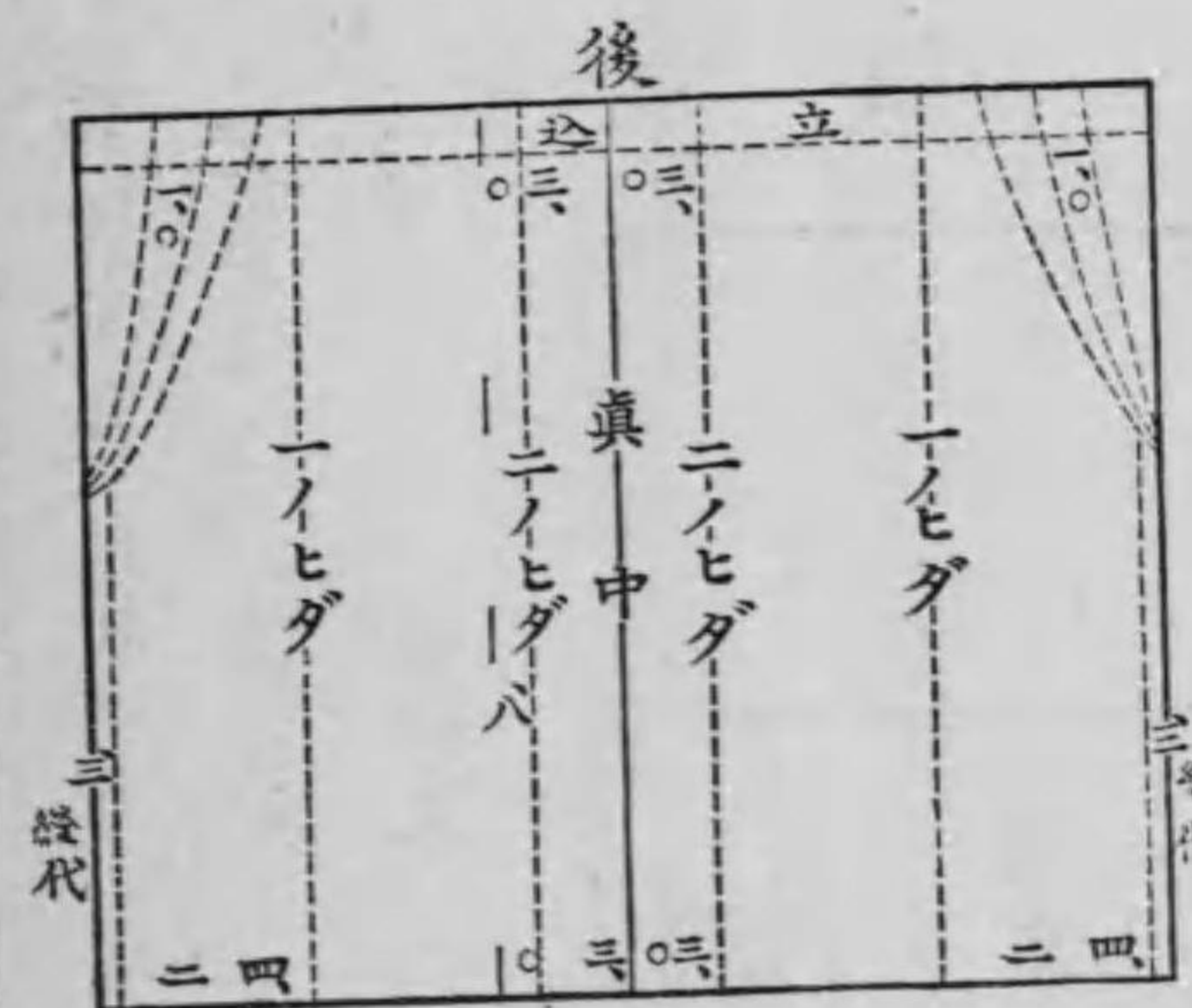
積り方公式

- 總丈 = 後丈 × 3 - 後前の差 × 2
- 後丈 = 總丈 + 後前の差 × 2 + 3
- 前丈 = 後丈 - 後前の差

普通仕立上げ寸法

- 紐 下 一尺三寸五分
- 後脇幅 四寸二分
- 後寄せ襷 上六分五厘 下一寸三分
- 前腰幅 六寸五分
- 懷の重 六分
- 相引 九寸五分
- 後腰幅 六寸
- 後の重 八分
- 前笹襷 八分
- 後幅 五寸五分
- 後笹襷幅 一寸
- 前脇幅 三寸二分
- 前寄せ襷 上六分 下一寸一分

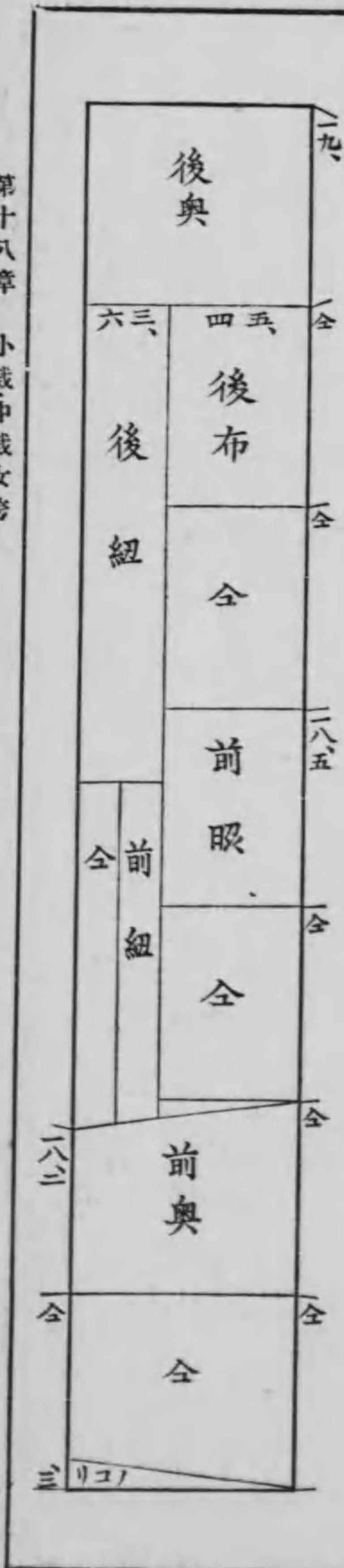
縫ひ合せ及び襷取り方



注意 右の圖中後を一つ襷即ち大紋腰になすときは一の襷を五寸五分とはかり、右脚は其の處に左脚はそれより重なるの分八分だけ真中の方に寄せて折りをつけ、これを重ね合せて襷を取るべし。

二、並幅長さ一丈三尺一寸の用布にて八九歳女兒用袴の裁ち方及び襷取り方
 普通裁ち切り寸法

- 後丈 一尺九寸
- 後紐幅 三寸六分
- 前丈 一尺八寸五分
- 前紐丈 七尺
- 後紐丈 四尺
- 前紐幅 一寸八分



積り方公式

$$\text{總丈} = \text{後丈} \times 3 + \text{前丈} \times 4$$

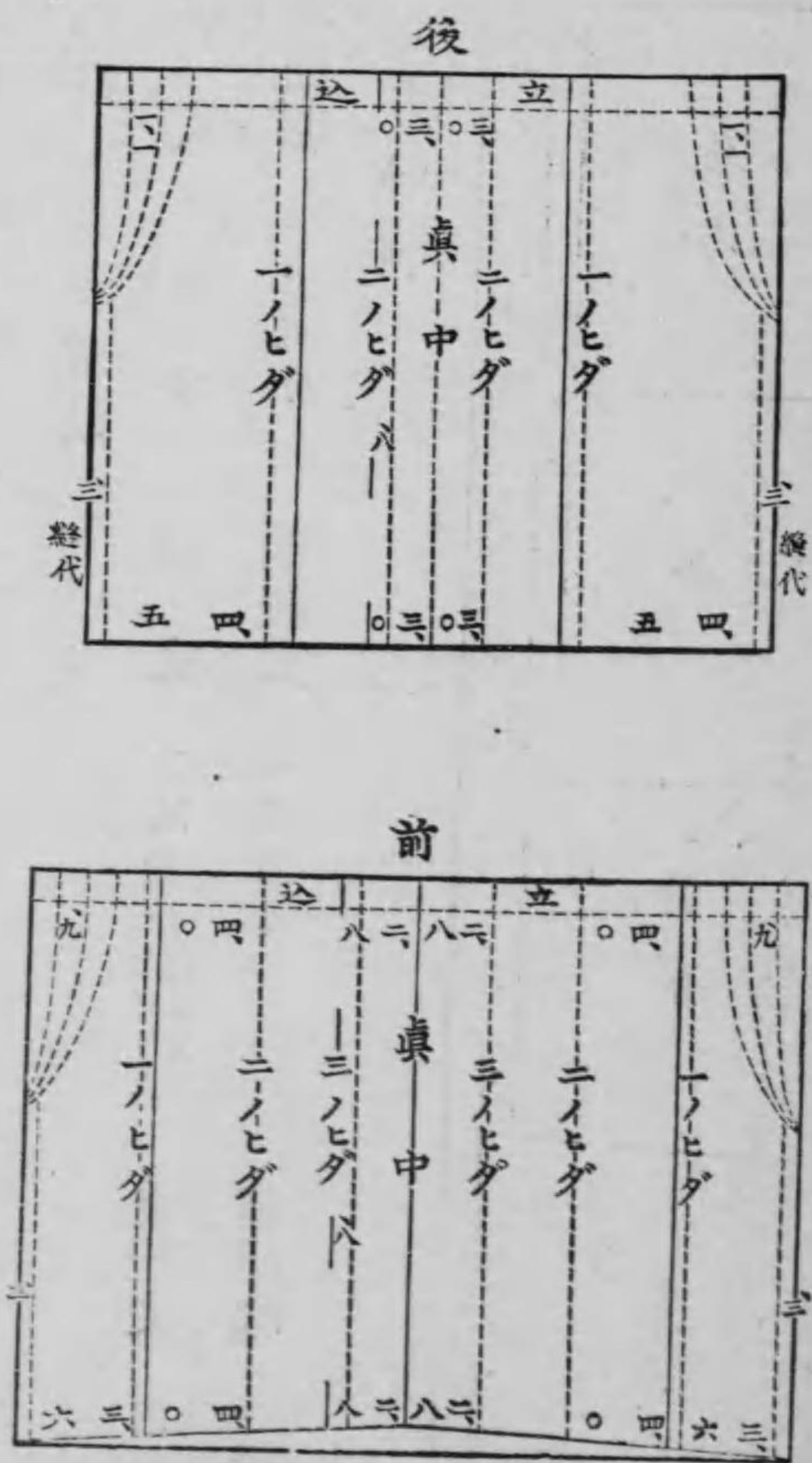
$$\text{後丈} = (\text{總丈} + \text{後前の差} \times 4) \div 7$$

$$\text{前丈} = \text{後丈} - \text{後前の差}$$

普通仕立上げ寸法

紐 下	一尺六寸五分	相引	一尺一寸五分	後 幅	六寸
後脇幅	四寸五分	後腰幅	六寸五分	後笹襷	一寸一分
後寄せ襷	上七分五厘 下一寸五分	後の重	八分	前脇幅	三寸六分
前腰幅	七寸	前笹襷	九分	前寄せ襷	上六分五厘 下一寸二分
懷の重	六分				

縫ひ合せ及び襷取り方



【設問】

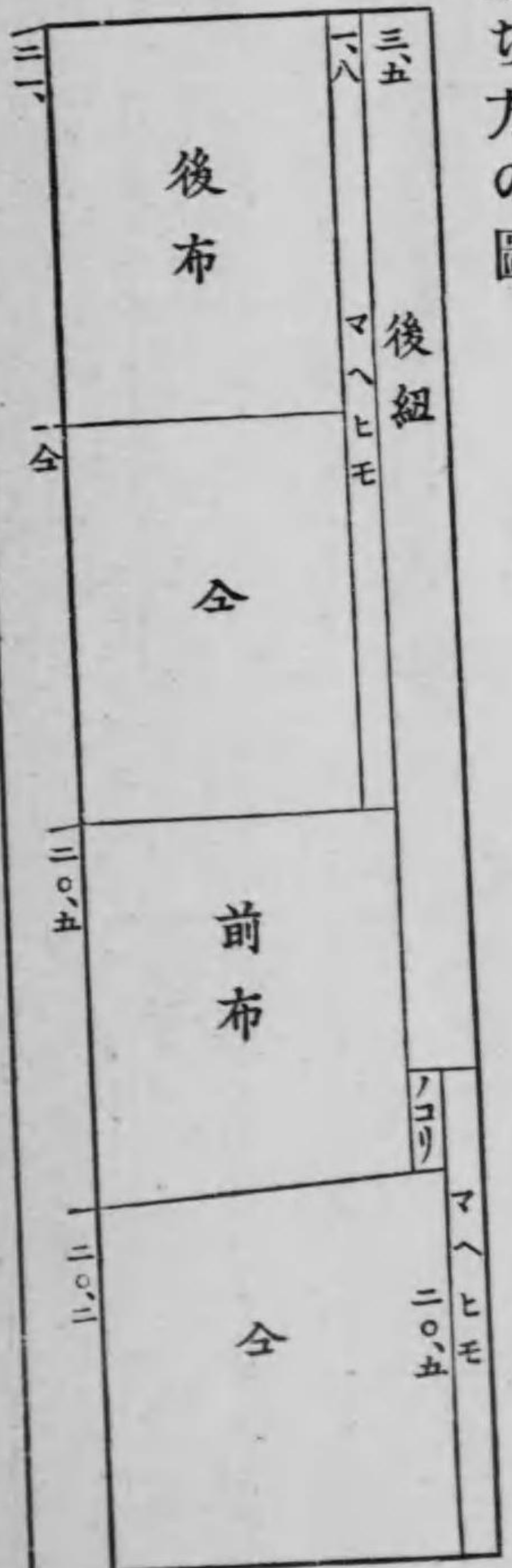
五六歳女兒用袴の普通仕立上げ寸法を述べよ。
 二尺幅のメリンスにて七八歳女兒用袴の裁ち方及び用布の總丈を述べよ。
 但し裁ち方は圖解とす。又前紐は横布を用ふるも可なり。

第二 中裁女袴

一、幅二尺長さ八尺二寸七分の両面物にて十一二歳女兒用袴の裁ち方及び襷取り方
 普通裁ち切り寸法

後丈 二尺一寸 前丈 二尺五分内切り上
 後紐幅 三寸五分 前紐丈 七尺五寸
 後紐丈 四尺五寸
 前紐幅 一寸八分

裁ち方の圖



積り方公式

總丈 = 後丈 × 4 - 後前の差 × 2 - 前布の裁違
 後丈 = (總丈 + 後前の差 × 2 + 前布の切上) ÷ 4
 前丈 = 後丈 - 後前の差

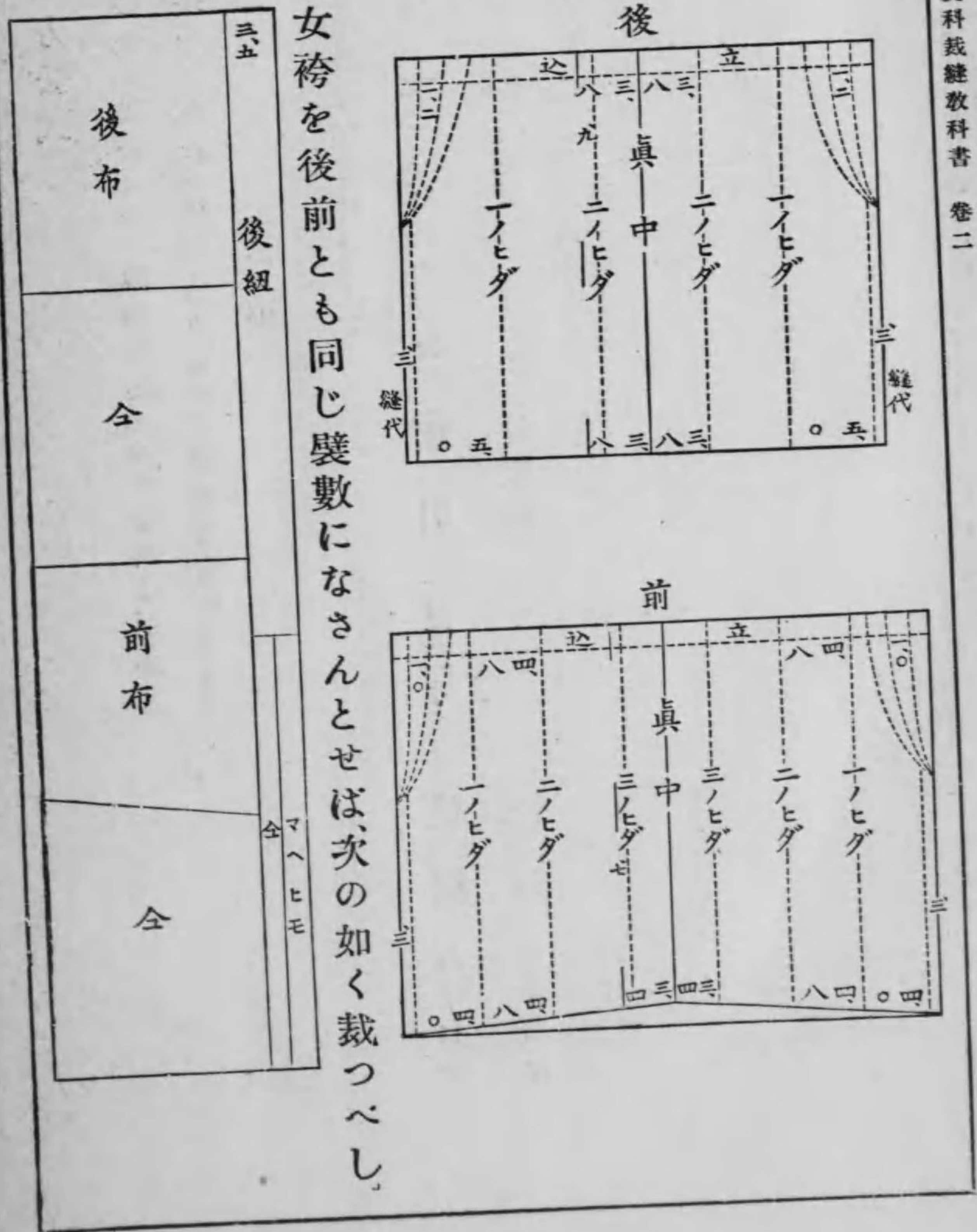
普通仕立上げ寸法

紐 下	一尺八寸五分	相引	一尺三寸	後幅	六寸七分
後脇幅	五寸	後腰幅	七寸	後笹襷	一寸二分
後寄せ襷	上八分五厘 下一寸七分	後の重	九分	前脇幅	四寸
前腰幅	七寸五分	前笹襷	一寸	前寄せ襷	下一寸三分 上七分
懷の重	七分				

縫ひ合せ及び襷取り方

圖の方ち裁

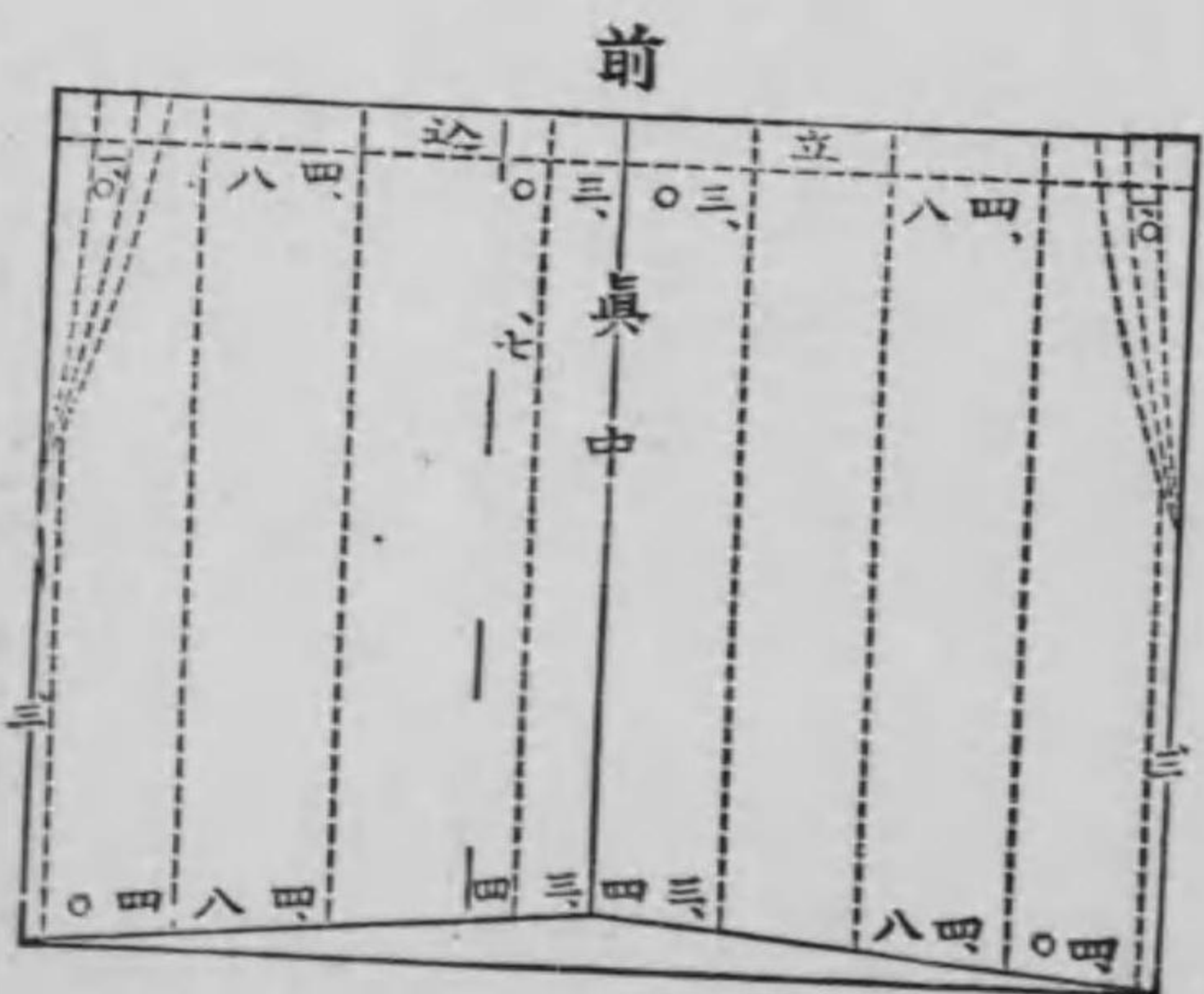
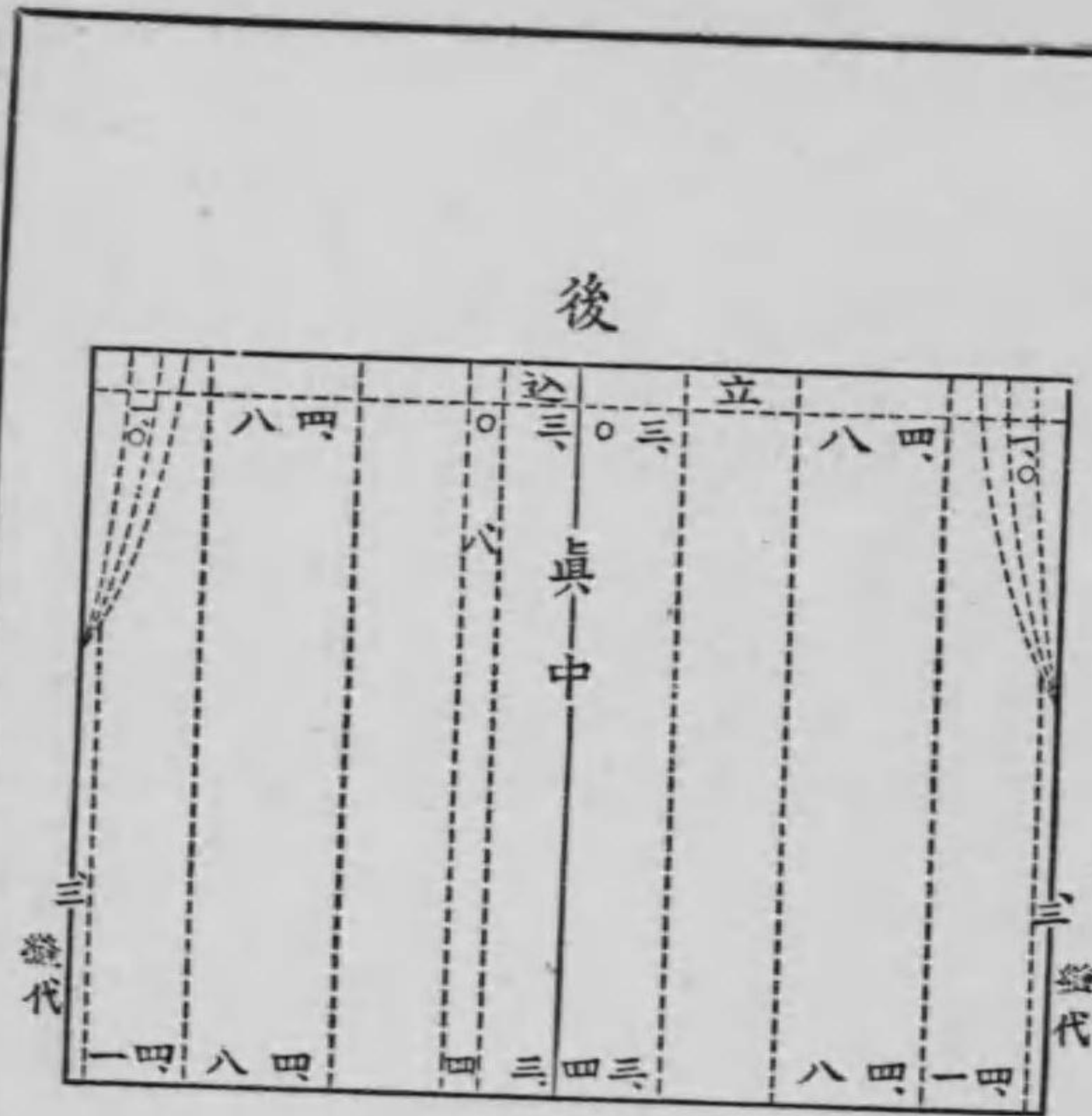
右の女袴を後前とも同じ襷数になさんとせば、次の如く裁つべし。



積り方公式

總丈 = 後丈 × 4 - (後前の差 × 2 + 裁違) 0.5
 後丈 = (總丈 + 後前の差 × 2 + 裁違) ÷ 4

縫ひ合せ及び襷取り方 但し後前五つ襷



二、幅二尺長さ九尺七分の両面物にて十四五歳女兒用袴の裁ち方及び襷取り方
 普通裁ち切り寸法

後丈 二尺三寸
 後紐丈 四尺六寸
 前紐丈 七尺八寸

前丈 二尺二寸五分内切り上
 後紐幅 三寸五分
 前紐幅 一寸八分

裁ち方の圖



積り方公式

前題に同じ。

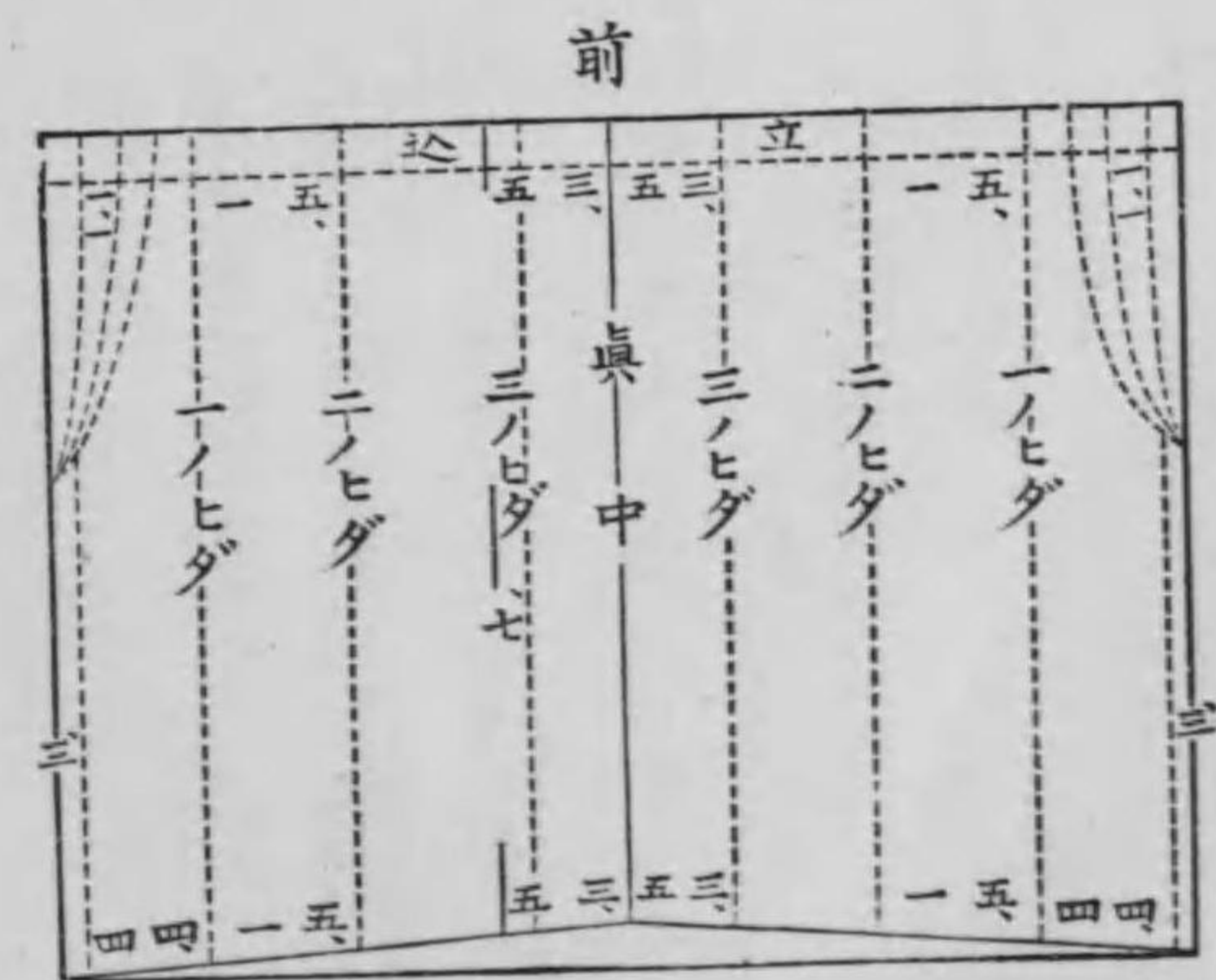
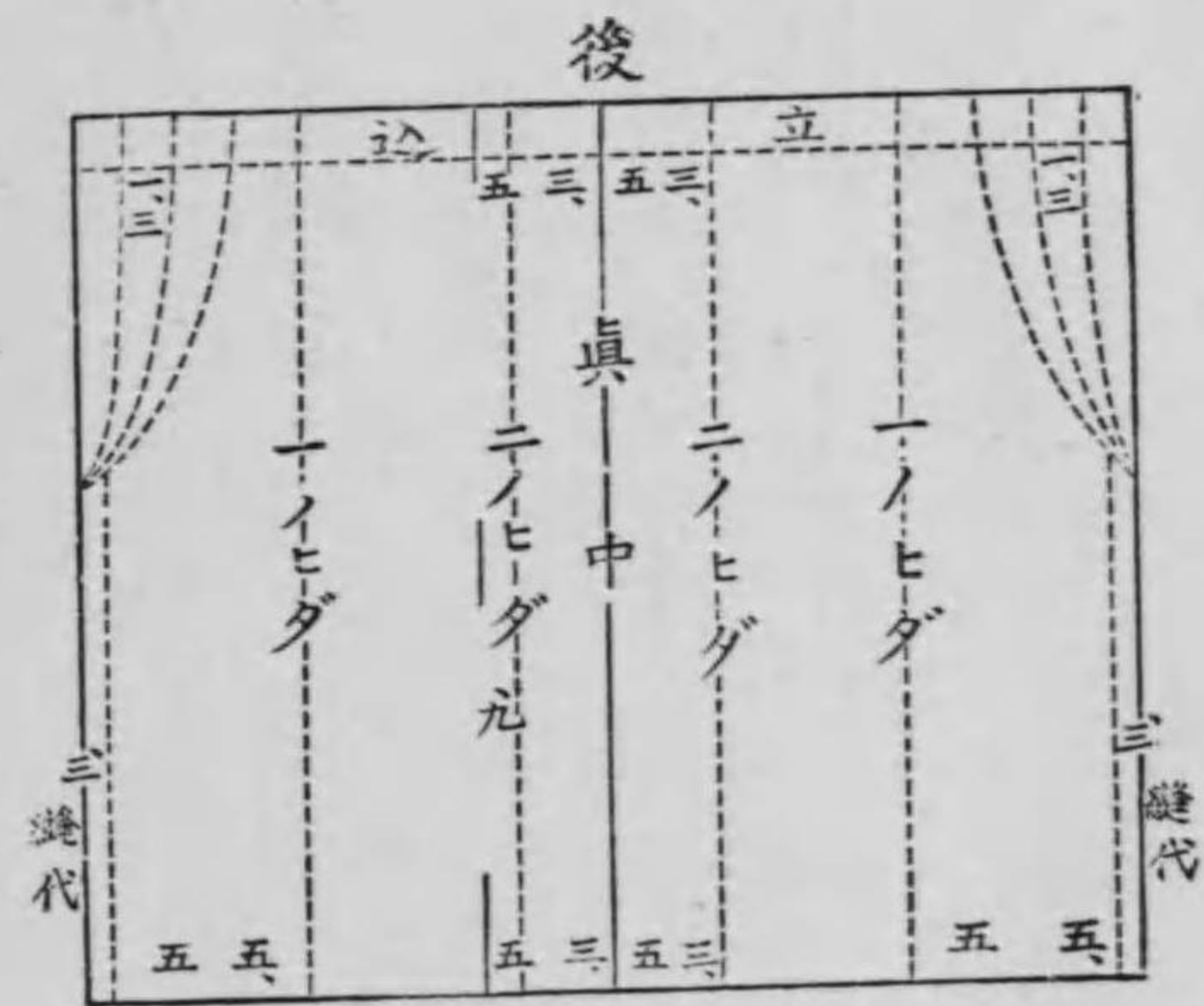
普通仕立上げ寸法

紐 下 二尺五分
 後幅 七寸三分
 後腰幅 七寸五分
 後寄せ襷 上九分 下一寸八分
 前脇幅 四寸四分
 前笹襷 一寸一分
 懐の重 七分

相引 一尺四寸五分
 後脇幅 五寸五分
 後笹襷 一寸三分
 後の重 九分
 前腰幅 八寸
 前寄せ襷 上七寸 下一寸三分五厘

縫ひ合せ及び襷取り方

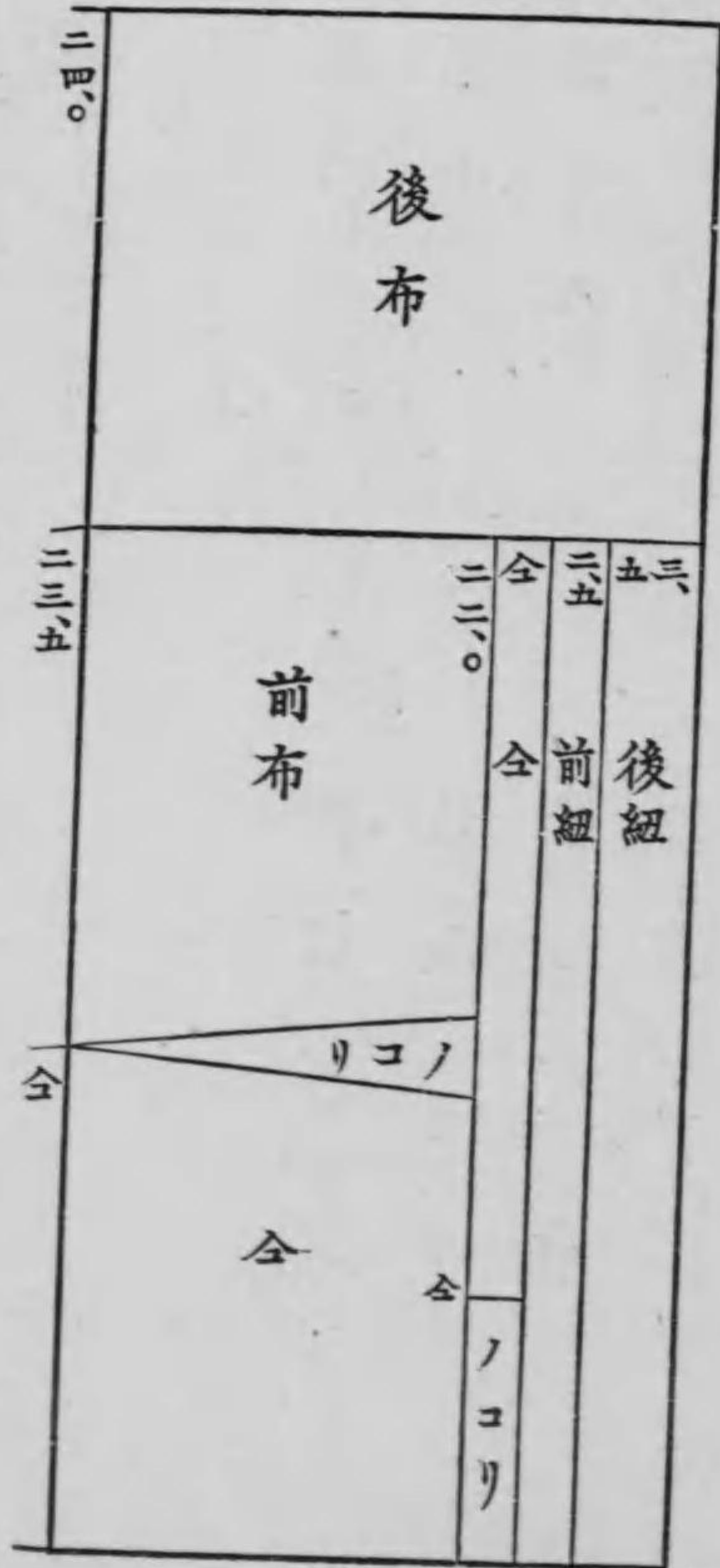
三、幅三尺長さ七尺一寸の片面物にて十五六歳用女袴の裁ち方
 及び襷取り方
 普通裁ち切り寸法



後丈 二尺四寸
 後紐丈 四尺七寸
 前紐丈 八尺
 裁ち方の圖

前丈 二尺三寸五分内切り上
 後紐幅 三寸五分
 前紐幅 二寸五分

積り方公式



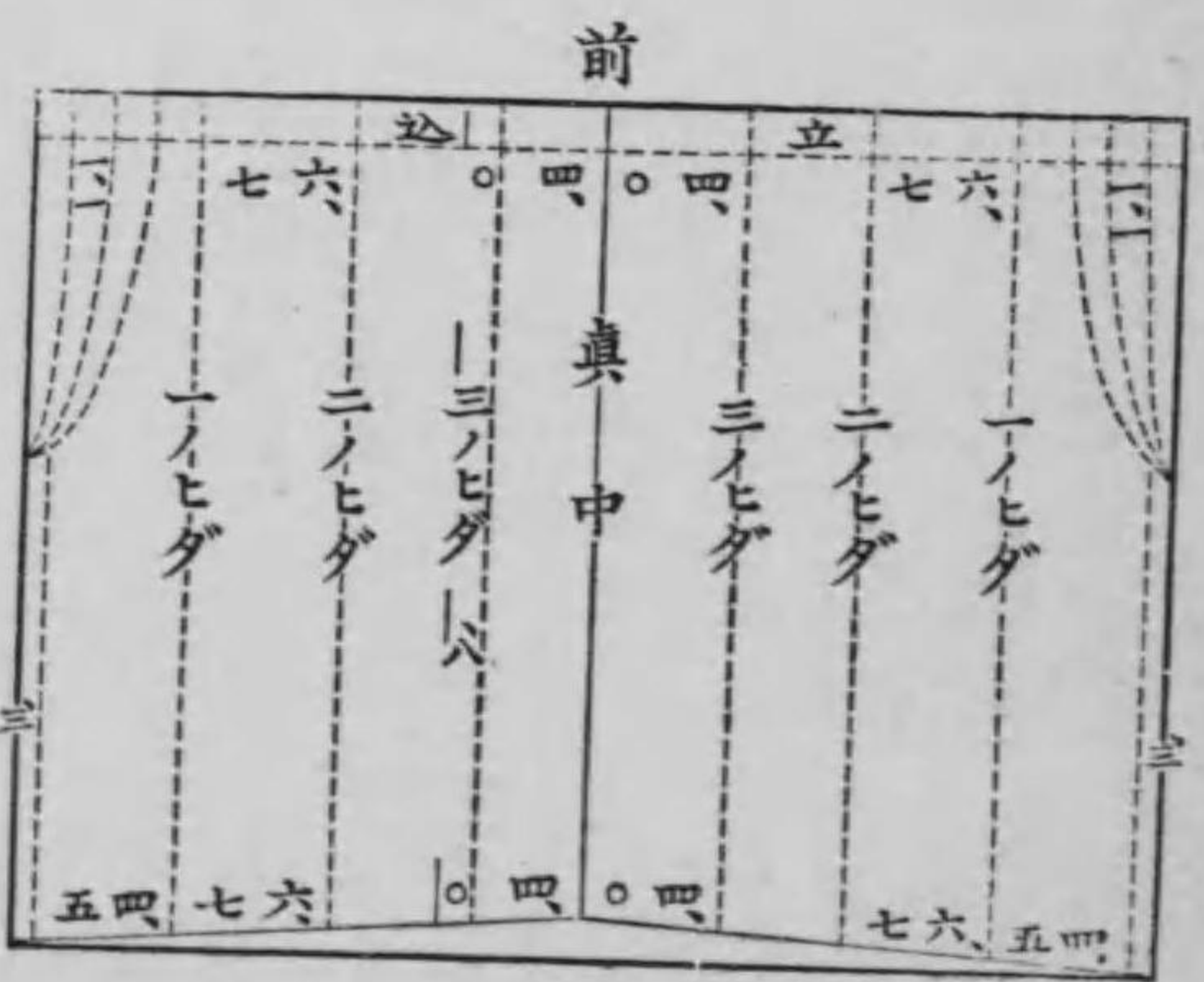
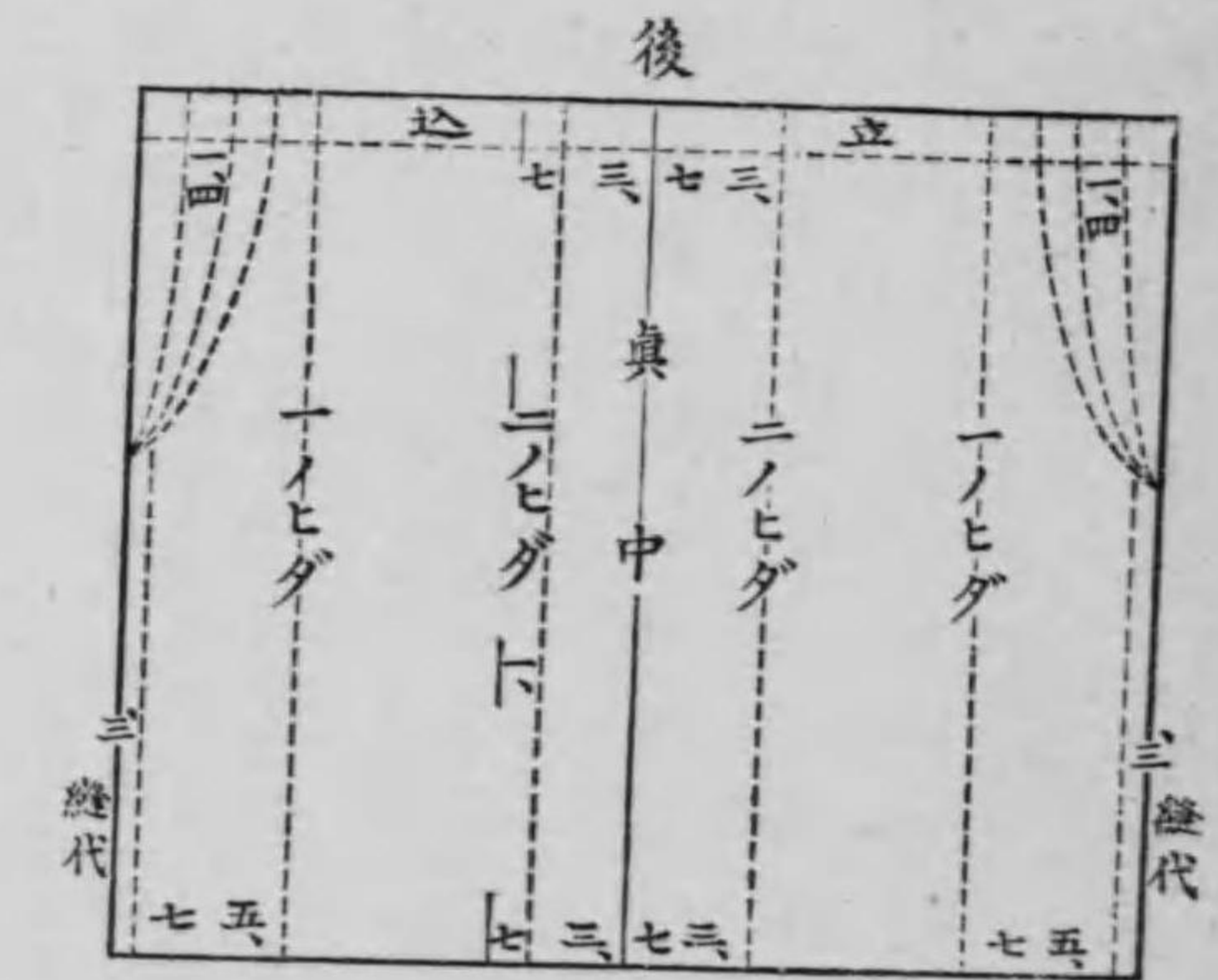
總丈 = 後丈 × 3 - 後前の差 × 2
 後丈 = (總丈 + 後前の差 × 2) ÷ 3
 前丈 = 後丈 - 後前の差

普通仕立上げ寸法

紐 下 二尺一寸
 後 幅 七寸五分
 後腰幅 七寸八分
 後寄せ襷 上九分 下一寸八分
 前脇幅 四寸五分
 前笹襷 一寸一分
 懐の重 八分

相 引 一尺五寸
 後脇幅 五寸七分
 後笹襷 一寸四分
 後の重 一寸
 前腰幅 八寸三分
 前寄せ襷 上八分五厘 下一寸四分

縫ひ合せ及び襷取り方



【設問】

二尺幅の片面物にて、十一二歳女兒用袴を裁つに、後丈二尺三寸の裁ち切りとなさんとせば、總用布何程を要するか。
 十四五歳用女袴の普通仕立上げ寸法を述べよ。

又之れを三尺幅物にて裁ちたる時の縫ひ合せ方及び襞の取り方を圖解せよ。

第三 各種女袴普通仕立上げ寸法表

部分の名稱	年 齡	紐 下	相 引	後 脇 幅	後 腰 幅	後 襠 幅	後 寄 せ 襞 重	後 の 重	前 脇 幅
	五 六 歲	一尺三寸五分	九寸五分	五寸五分	四寸二分	六寸	一寸	上下六寸三分	八寸五分
	八 九 歲	一尺六寸五分	一尺一寸五分	六寸	四寸五分	六寸五分	一寸	上下六寸二分	九寸七分
	十 一 二 歲	一尺八寸五分	一尺三寸	六寸七分	五寸	七寸	一寸二分	上下八寸七分	十寸五分
	十 四 五 歲	二尺〇五分	一尺四寸五分	七寸三分	五寸五分	七寸五分	一寸三分	上下九寸八分	十一寸一分
	十 六 七 歲	二尺一寸	一尺五寸	七寸五分	五寸七分	七寸八分	一寸四分	上下九寸八分	十一寸三分
	大 人	二尺三寸	一尺六寸五分	八寸	六寸	八寸	一寸五分	上下九寸五分	十二寸五分

前 腰 幅	前 襠 幅	前 寄 せ 襞 重	懷 の 重	後 紐 丈	前 紐 丈
六寸五分七分	八寸五分	上下六寸一分	六寸三分	三尺三寸	六寸
七寸七分	九寸七分	上下六寸二分	六寸五分	四寸	七寸
七寸五分	十寸五分	上下七寸三分	七寸五分	四寸五分	七寸五分
八寸	十一寸一分	上下七寸五分	七寸七分	四寸六寸	七寸七分
八寸三分	十一寸三分	上下八寸四分	八寸四分	四寸七寸	八寸四分
八寸五分	十一寸五分	上下九寸五分	八寸五分	四寸八寸	八寸五分

右は普通寸法の大要を示したるものなれども紐下丈及び後前の幅等は人々の身長及び肥瘦等によりて多少異なるものなれば、實際の場合に於てはなるべく着用者の體格に適合する様仕立つ可きなり。

卷二終

大正八年十月廿二日印
 大正八年十月廿五日發
 大正十年五月十七日修正印刷
 大正十年五月十七日再版發行

實科裁縫教科書 貳卷

定價金五拾六錢

著者

今村順子

印發行

東京市日本橋區通三丁目十番地
河出靜一郎

發行者

東京市京橋區南傳馬町二丁目五番地
黑甚七

印刷所

東京市神田區錦町三丁目一番地
神田印刷所



發行所

東京市日本橋區通三丁目
 [振替口座東京一七一九番]
 東京市京橋區南傳馬町二丁目
 [振替口座東京二八〇九番]

成美堂書店
目黒書店

終

